

Co-Founders of Innovation



Investment Strategy 投資戦略

優れた Science/Technology

- 軸となる東京大学に加え、全国の大学、研究機関、企業、政府と連携し、インパクトのある技術をソーシング
- 必要に応じて組織を超えて テクノロジーをロールアップ



強力なチーム

- テクノロジーを活かした事業を強力 に推進できるプロフェッショナル マネジメントを重視
- 製品開発・オペレーション・管理面に おいても強力なチームを構築

グローバルな 市場や課題

- 設立当初からグローバル市場を視野
- ■全人類的な課題の解決を志向

主な実績



2011年7月 東証マザーズ上場*



2011年9月 株式会社ミクシィがM&A



2013年2月 Google,IncがM&A



2013年6月東証マザーズ上場 2015年12月東証一部上場**



2015年5月 バイドゥ株式会社がM&A



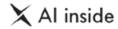
2017年9月 香港上場OLuxe HDと資本提携



2018年12月 東証マザーズ上場*



2019年2月 MBO



2019年12月 東証マザーズ上場*



2020年8月 東証マザーズ上場*



2020年12月 米国 Nasdaq 上場 FYUSION

2020年12月 Cox Automotive Inc. がM&A



2021年12月 東証マザーズ上場*



2021年12月 東証マザーズ上場*



Institute 2021年12月 東証マザーズ上場*



2021年12月 東証マザーズ上場*



2022年5月 Eurofins Scientific SEがM&A



2022年6月 東証グロース上場 **{{ ELEMENTS**

2022年12月 東証グロースト場



2023年2月 Moderna, Inc. がM&A



2023年6月 東証グロース上場

- * 市場区分見直しに伴い、現在は東証グロース市場に上場
- ** 市場区分見直しに伴い、現在は東証プライム市場に上場

UTECについて

2004年以来、総額で847億円規模の5つのファンドを組成

- ▶創 業 2004年4月1日
- ▶運営会社 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
- ▶運営する投資事業有限責任組合(ベンチャーキャピタルファンド)

UTEC 5号投資事業有限責任組合

設 立 ……2021年5月7日

無限責任組合員(GP) ···················UTEC Partners 有限責任事業組合

規 模 ………約304.1億円 投資先 ……………37件 (保有中37件)

UTEC 4号投資事業有限責任組合

設 立 ……2018年1月17日

無限責任組合員(GP) ·······················UTEC Partners 有限責任事業組合

規 模 ………約243.1億円

投資先 ······36件 (保有中28件、上場4件、M&A等2件)

UTEC 3号投資事業有限責任組合

設 立2013年10月15日

無限責任組合員(GP) ················UTEC 3 Partners 有限責任事業組合

規 模 …………約145.7億円

投資先 ······31件 (保有中9件、上場4件、M&A等5件)

UTEC 2号投資事業有限責任組合

設 立 ……2009年7月31日

無限責任組合員(GP) ·················UTEC、UTEC Venture Partners 株式会社

規 模 …………約71.5億円

投資先 ······13件 (上場3件、M&A等5件)

ユーテックー号エグジット投資事業有限責任組合

設 立 ……2004年7月1日

無限責任組合員(GP) · · · · · · · · UTEC

規 模 …………約83億円

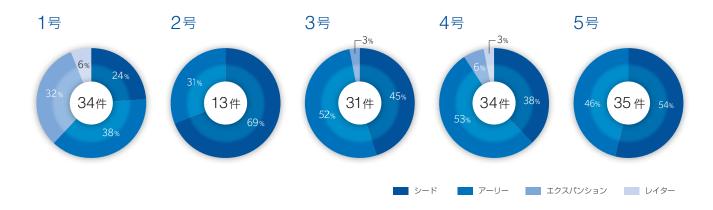
投資先 ······34件 (上場9件、M&A等8件)

シード・アーリーをメインとした 総合的なサポート

UTECの投資対象は、会社設立前を含むシード・アーリー段階のスタートアップ

初回投資時のフェーズ※1,※2

件数ベース/%



- ※1 フェーズの定義については、2022 National Venture Capital Association Yearbookを基準としている
- ※2 2023年10月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント(FoF 出資は除く)

強いコミットメント

リード投資家として、投資先の経営・ファイナンス面を支える ※ほとんどの投資先に対して、リード投資家として取締役や監査役を派遣し、積極的にバリューアップ・経営支援

リードポジションの割合※1,※2

件数ベース/%



- ※1 過去のファイナンスにおいてリードポジションを取ったことがある、取っている件数の割合
- ※2 2023年10月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント(FoF出資は除く)

大学・研究機関との連携及び ポートフォリオのグローバル進出



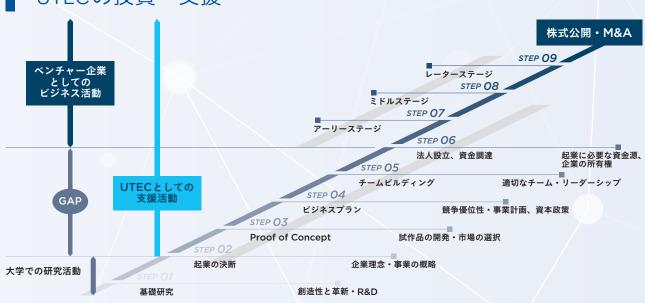
Network



プリンストン大学

インベストメント・フロー

UTECの投資・支援



Sponsorship

大学へのスポンサーシップ

UTECは2017年以降、東京大学の26のプロジェクトのスポンサーシップを開始し、研究者や学生へのサポートを強化。 ベンチャーキャピタル事業の成果をもとに、東京大学をはじめとした大学・研究機関等へのサポートを拡充しております。



東京大学基金 UTEC 東京大学未来社会協創基金

UTEC-UTokyo FSI Research Grant Program

産学協創推進本部

GAP ファンドプログラムの運営、特許出願等手続の充実

研究推進部

東京大学卓越研究員支援

教育・学生支援部

スポーツ振興基金・運動部器具備品基金 UTEC東京大学奨学金

UTokyo Alumni Giving Campaign 2021

医学部附属病院

学術研究助成

トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR機構)

大学院法学政治学研究科

法・政治分野における先端的科学技術の活用と分野融合研究のため

大学院医学系研究科

ライフイノベーション・リーディングプログラム

大学院工学系研究科

リーダー博士人材育成基金

自分で守る健康社会 COI 拠点: 医療技術評価実験室関連寄附金

Deep Learning 人材育成基金

社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム

(GSDM) の人材育成及び研究基盤強化

ブロックチェーン・イノベーション寄附講座 アントレプレナーシップ教育デザイン寄附講座

名古屋大学

学術研究・産学官連携推進本部 大学発ベンチャー応援事業 Tongali プロジェクト



京都大学 産官学連携本部 若手研究者による挑戦的な新素材の研究のため



工学研究院

大学院理学系研究科

金融教育研究センター助成金

大学院薬学系研究科

マーケットデザイン研究助成金

大学院農学生命科学研究科

農学創発基金 (若手研究者支援事業) 大学院経済学研究科

大学院新領域創成科学研究科

新領域創成科学研究教育振興基金

次世代知能科学研究センター

若手研究者育成プロジェクト

大学院情報理工学系研究科

情報理工学系研究基盤整備プロジェクト

駒場リサーチキャンパス・若手海外自由展開・

新領域研究助成金 (河野重行東京大学名誉教授)

理学若手未来基金

薬学若手研究支援

医科学研究所

研鑽支援プログラム

インテリジェント飛行寄附講座



大阪大学共創機構

共創機構若手研究者基礎研究振興助成金

生産技術研究所/先端科学技術研究センター



国際物理オリンピック 2023 日本大会 Sapphire Supporter



UTEC Portfolio Companies 投資先企業

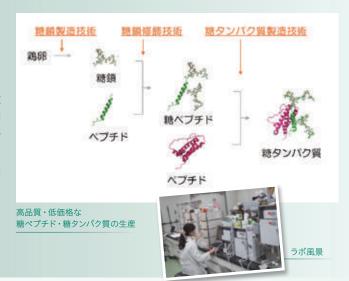
Life Science & Healthcare	
株式会社糖鎖工学研究所	オリシロジェノミクス株式会社
五稜化薬株式会社	Faraday Pharmaceuticals, Inc.
エディットフォース株式会社	株式会社メトセラ
タグシクス・バイオ株式会社	セレイドセラピューティクス株式会社
株式会社ミルテル	ユナイテッド・イミュニティ株式会社
Tricog Health Pte. Ltd.	株式会社 PURMX Therapeutics
ソシウム株式会社	株式会社 Elixir Pharma
Elixirgen Therapeutics, Inc.	株式会社セルージョン
ImmunoScape Pte. Ltd.	Red Arrow Therapeutics Inc.
Bugworks Research, Inc.	レグセル株式会社
bitBiome 株式会社	
■ IT	p16-27
WASSHA 株式会社	株式会社 HashPort
株式会社お金のデザイン	株式会社 DATAFLUCT
株式会社 ELEMENTS	株式会社クウゼン
シーオス株式会社	PaylessGate 株式会社
株式会社レトリバ	Obviously AI, Inc.
株式会社アイデミー	スタジオアンビルト株式会社
スタートバーン株式会社	株式会社 Alumnote
株式会社ティアフォー	株式会社 ALGO ARTIS
株式会社 obniz	forest 株式会社
Tellus You Care, Inc.	株式会社フロンティア・フィールド
SWAT Mobility Pte. Ltd.	booost technologies 株式会社
株式会社 estie	fermata 株式会社
株式会社アダコテック	OniGO 株式会社
株式会社 ROMS	株式会社 ARCH
VividQ Limited	Eureka Robotics Pte. Ltd.
OpalAl Pte. Ltd.	issin ホールディングス株式会社
TXP Medical 株式会社	Cordia Directions 株式会社(Peach Cars)
株式会社 Capex	
Physical Science &	Engineeringp28-32
ベジタリア株式会社	Charco Neurotech Ltd
株式会社アルガルバイオ	EnteraSense Limited
BionicM 株式会社	株式会社 Gaianixx
Nelumbo, Inc.	Liminal Insights Inc.
SUN METALON Inc.	Ubifly Technologies Private Limited (ePlane)
Kepler 株式会社	Oxford Quantum Circuits Limited Oxford Quantum Circuits Limited
株式会社 RICOS	Oxford Quantum officials Efficied
Fund	p34-35
Deep30 Limited Partnership	
BLUME VENTURES-FUND III /B	lume Ventures GIFT TRUST IV
Amadeus V Technology Fund LP	
アラムナイ	p36-40
Team	p42-48
Alumni Venture Partner	p49
	·
ての他佼具及ひンニアノ	アドバイザーp50

株式会社糖鎖工学研究所

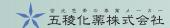
糖鎖技術を応用するバイオ医薬品のパラダイムシフト

GlyTech, Inc.

- Q1 前職の大塚化学株式会社における研究開発や大阪大学梶原康宏教 授との共同研究の成果に基づき、高純度ヒト型糖鎖の大量調製実用 化と糖鎖応用によるバイオ医薬品への機能性付与の実証を行うため に2012年4月に創業
- Q2 糖ペプチド、糖タンパク等のバイオ医薬創薬の精密化学合成による創 薬スクリーニングシステムと原薬の商業生産
- シリーズA以降の資金調達やガバナンス構築面での支援 Q3

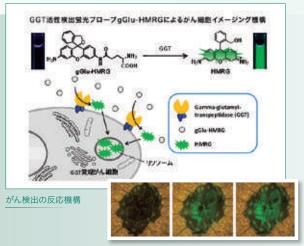


五稜化薬株式会社



日本発のがん術中迅速診断のためのナビゲーションドラッグの開発

- ケミカルバイオロジーを駆使した創薬支援のための研究試薬開発や蛍 Q1 光プローブの医療応用を目指し、北海道大学の知財を活用して2010年 7月に札幌で創業
- 02 創業後、東京大学の浦野泰照研究室が開発した蛍光色素や診断薬の プラットフォーム技術を導入することができたこと、並びにそれら色 素の効率的な合成能力を自社に保有していること
- 東京大学への紹介、事業計画の構築及び資金調達や人材紹介などの Q3 ハンズオン支援



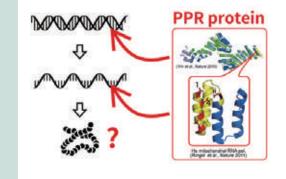
ヒト食道がんESD摘出検体にEP-HMRGをスプレーする前(左)とスプレーした後 5分(中央)、スプレー後10分(右)の色調変化。(がん部位は左写真の点線で示し た部位。中央付近の緑に光っている部位がEP-HMRG による蛍光シグナル)

エディットフォース株式会社



日本発のゲノム編集技術を通じて国内外の創薬、農業、 物質生産の産業革新に貢献する

- 海外で先行するZFN、TALEN、CRISPR等のゲノム編集技術に対し、日本発のゲノム Q1 編集技術を事業化すべく、九州大学の中村崇裕准教授が発明したPPR技術をコア技 術として2015年5月に設立
- PPR技術はゲノム編集の主流であるDNAのみならず、その下流であるRNAも認識が Q2 可能。DNA/RNAの両方が編集可能な世界初のゲノム編集ツールで、ポストゲノム時 代の革新的な企業である点
- Q3 事業計画のブラッシュアップや経営人材及びパートナー等の紹介。IPOなどのエグ ジット体制構築支援



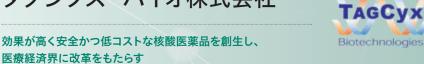
PPRがDNA/RNAに作用する模式図

01

起業の発端

02 何が強みか (競争優位性) 03 UTECのバリューアップ (貢献)

タグシクス・バイオ株式会社



- 「人工塩基対技術」の普及と幅広い分野での実用化を目指して、元・理化学研究所合成分 Q1 子生物学研究チームリーダーの平尾一郎氏が中心となり2007年3月に創業。2016年よ り、創薬開発を主事業として活動開始
- 独自開発の創薬探索技術を用いて、核酸医薬品(Xenoligo™)を効率よく創り出すことが Q2 できる。Xenoligo™の標的物質に対する高い親和性と高い選択性、独自開発の安定化技 術が強み
- Q3 経営体制の構築や資金調達、事業提携などのサポート

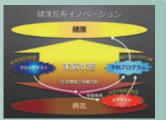


疎水性の塩基Dsを含むXenoligo™と 標的タンパク質との結合



医療イノベーションで「疾患になりにくい社会」を実現し、 健康長寿と医療費削減に貢献

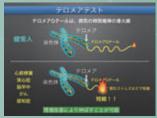
- 広島大学田原栄俊教授が、一緒に研究した学生を若年性胃がんで亡 くし研究の実用化の重要性に気づいたことをきっかけに、自ら開発し たGテール長測定技術を未病検知検査への応用・事業化を決意、2012 年9月に創業。マイクロRNAによる早期発見検査により健康長寿社会 への貢献を目指す
- 世界唯一のテロメアGテール長測定技術を用いた「未病検知検査」 Q2 と独自の疾患特異的な体液中マイクロRNAによる「疾患の早期発見 検査」を日本で初めて開始
- 資金調達やガバナンス体制構築面でのサポート Q3



未病を検出して健康長寿をめざす



ミアテストでがん・認知症を早期発見



テロメアテストで加齢疾患のリスクを検出

Tricog Health Pte. Ltd.



効率的・迅速なAI心電図解析により、新興国における心臓病関連の死亡者を減らす

- インドにおいて長年循環器の医師である CEO の Dr. Charit Bhograj が、多くの患者 が適切な治療を受けるまでに時間がかかってしまっていることに強い危機感をおぼ え、2017年3月に起業
- インド・東南アジア・アフリカを中心に1,000万人以上の医師診断付き Q2 のECG、遠隔心臓超音波診断、心不全の診断データを収集。社内外に 30名程度の専門医を抱えHP-GP、主要医療機器メーカと連携した サービスを展開。集めたデータを機械学習により解析、インドを中心に 東南アジアやアフリカの医療拠点に導入
- Q3 ファイナンス面のアドバイス、医療機器メーカーとの協業及び日本の 大学病院による共同研究の促進



アジア・アフリカを中心に幅広く展開



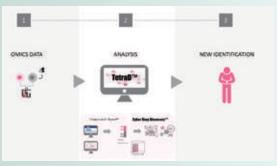


機器は後付け可能。 医療現場の導線は不変



未だ満たされない治療ニーズに応えることで、人びとの健康に貢献

- Q1 産業技術総合研究所の堀本勝久氏が開発した独自の遺伝子発現情報解析 アルゴリズムを基に、創薬支援プラットフォームの開発・実用化を目指して 2017年9月に創業
- 従来の解析技術に比べて、生物学的意義に基づく疾患関連遺伝子とそれら Q2 が構成するパスウェイを高精度に抽出することで、医薬品の開発成功率を 高める
- 資金調達、事業提携、経営人材のリクルーティングなどのサポート Q3



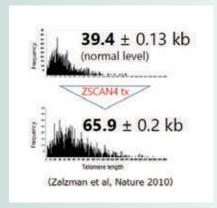
複数特許から構成されるサービスフロー

Elixirgen Therapeutics, Inc.



ZSCAN4を用いた細胞治療法による希少疾患の治療を目指す

- 慶應義塾大学洪実教授が米国NIH (米国国立衛生研究所)時代に発見した遺伝子ZSCAN4 Q1 の臨床応用をすべく2018年5月に起業
- Q2 ZSCAN 4遺伝子が幹細胞のゲノム安定性を高めテロメアを伸長するという発見に基づく。 ZSCAN4を、ゲノムを障害しないより安全なRNA治療薬の形で造血幹細胞などの細胞に導 入する技術を開発。米国 FDAと Pre-IND を終了し、先天性角化不全症を含むテロメア病の 早期臨床治験を目指す
- 臨床治験にむけての加速資金、企業・投資家・人材などへのネットワーキング機会、IPOに Q3 向けた体制構築の支援などの提供



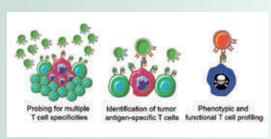
ZSCAN4によるテロメア伸長の例

ImmunoScape Pte. Ltd.



Enabling immunotherapy through highdimensional immune profiling

- A*STAR Singapore Immunology NetworkのEvan Newell博士らによって開発され た免疫プロファイル技術を活用し免疫療法の発展及び治療法の確立に貢献する ため2016年12月に起業
- マスサイトメーターを用いて免疫プロファイルを解析できる世界唯一の会社。特に Q2 抗原特異的T細胞を網羅的に解析することで新規抗原やバイオマーカーを開発し、 開発中の免疫療法の有効性・安全性を高める
- Q3 グローバルな事業開発の支援、東京大学をはじめとする日本アカデミアとの連携 支援、経営体制・チーム強化



Immunological insights provided by ImmunoScape



Map of immune response landscape

Q1

起業の発端

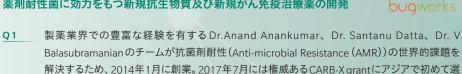
02 何が強みか (競争優位性) 03 UTECのバリューアップ

(貢献)

Bugworks Research, Inc.

薬剤耐性菌に効力をもつ新規抗生物質及び新規がん免疫治療薬の開発

研究者チームを擁し、米国、日本、英国、豪州に拠点を拡大





Proprietary ELUDE™ platform of Bugworks

- Q2 GYROXは広域の抗菌作用をもつ first & best-in-class の化合物で、リード化合物 BWC0977 は豪州で Phase 1 試験を実施中。DARE (2種のア デノシン受容体への阻害作用)を有する新規がん免疫低分子化合物を保有
- Q3 協業機会提供のための国内製薬会社への紹介や多剤排出トランスポーターAcrBの結晶構造を解明した東京工業大学教授村上聡の Scientific Advisorとしての紹介及び財務管理や資金調達の支援

bitBiome 株式会社

次世代マイクロバイオーム解析により、未知の微生物から新産業を創出する



- Q1 早稲田大学細川正人准教授が開発したシングルセルゲノミクス技術に基づき、UTEC協力のもと、次世代マイク ロバイオーム解析を活用した新産業の創出を目指し2018年11月に起業
- Q2 世界で初めて微生物に適合したシングルセルゲノミクス技 術を確立し、従来解析困難であった微生物ゲノムデータの 蓄積が可能となった。従来技術と比較してデータ精度と情 報量が圧倒的に優れており、同社のみが提供しうる共同研 究・受託解析サービスを顧客に提供
- 創業期からの事業計画、知財戦略、チームビルディングなど Q3 のサポート



シングルセルゲノミクスのワークフロー

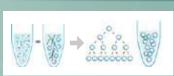
オリシロジェノミクス株式会社

OriCiro

革新的なDNA合成・増幅技術を基盤とした合成生物学企業

- 当社創業者の一人である立教大学末次正幸教授が内閣府の研究促進制度であるImPACTプログラム Q1 の下で、細胞を使わずに長鎖DNAを増幅する画期的な技術を発明。バイオの新たな成長分野として 期待される合成生物学の基盤技術として実用化する目的で、UTECが主導し2018年12月に起業
- Q2 バイオの研究開発に欠かせない長鎖DNAの増幅には従来、大腸菌をはじめ微生物の細胞が使われ、 手間と時間がかかっていた。当社技術では細胞を使わずにたんぱく質のみで増幅でき、増幅の大幅な 効率化に成功。また従来手法では不可能だったDNA配列の増幅も可能となり、増幅対象を飛躍的に 拡大できる。複数のDNA断片を同時に連結させて長鎖DNAを高効率に合成する技術も保有しており、 増幅と連結の技術を組み合わせてゲノムサイズのDNAを高効率かつ簡便に合成することが可能
- Q3 この技術の革新性に早い段階から注目し、経営チームの組成を含む当社の起業プロセスを主導。その 後も事業会社との提携交渉や知財構築、人材採用などで支援

大腸菌ゲノムの複製プロセスを試験管内で再現



DNA断片からゲノムサイズのDNAを効率的に合成

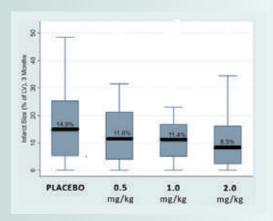


Faraday Pharmaceuticals, Inc. Faraday



Pioneering the use of specific, reduced forms of natural elements — elemental reducing agents — to improve quality of life after acute, critical illness

- 米国 Fred Hutchinson Cancer Research CenterのMark Roth博士が開発した技術 を活用し新しい治療薬を開発するため、2013年8月に創業
- 同社が開発するFDY-5301は過酸化水素を触媒作用により分解する能力を有する。 Q2 従来技術であるビタミンC等の抗酸化物質とは異なるメカニズムで活性酸素種を 分解することが可能
- 日本における産学連携、事業開発及び規制関連業務の支援 Q3



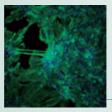
第2相試験における梗塞領域拡大抑制効果



心不全治療に、革命を起こす

- 東京女子医大博士課程での岩宮貴紘氏の心臓線維芽細胞に関する研 Q1 究成果の事業化を目指し、外資系投資銀行やスタートアップで経験を 積んだ野上健一氏との2年の助走期間を経て、2016年3月に二人で共 同創業
- Q2 自家の非幹細胞を用いることによる高い有効性と安定して低コストな 製造法、独自のマッピング及びデリバリーデバイスを用いた心筋組織へ の正確で安全な投与、動物での高い有効性データ及び自社研究による メカニズムの解明
- Q3 IPOを見据えたファイナンス戦略、人材採用支援等





心筋細胞とVCFを 共培養すると密接な ネットワークが形成 されることを確認



メトセラの4つの強み

セレイドセラピューティクス株式会社





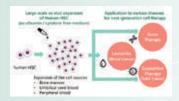
- 筑波大学山﨑聡教授、東京大学医科学研究所中内啓光特任教授(スタンフォード大学教授)の創業科学者チームは、液体 のりの成分であるPVAを用いたマウス造血幹細胞の体外での大量増幅技術の確立に成功。ヒトの造血幹細胞においても 体外増幅する基盤技術の確立に成功し、細胞治療領域での臨床応用を加速させ速やかな社会実装を目指し当社を設立
- Q2 従来、赤血球・白血球などの血液の源であるヒト造血幹細胞の体外増幅は困難であった。加えて、従来の細胞 増幅法ではアルブミン・サイトカインのような生物由来物質が使用され、再現性が低く品質管理が困難、原材料 が高コストといった問題もあった。当社技術は、アルブミン・サイトカインフリー培地にてヒト造血幹細胞の体外 増幅を可能にし、品質管理も容易で低コスト。細胞ソース(骨髄、さい帯血、末梢血)によらず造血幹細胞を増幅 することも可能で、様々な疾患への応用が期待できる
- Q3 当社技術の革新性に早い段階から注目し、事業化につなげたシード期からの資金支援。事業 戦略や開発計画の策定支援、人材の探索や紹介、法務・知財面の支援



マウス造血幹細胞 の体外での大量増 幅に成功



ヒト造血幹細胞の体外 での大量増幅に成功



細胞ソースを選ばず増幅可能であり、 様々な疾患への応用が期待できる

Q1

起業の発端

Q2 何が強みか (競争優位性) Q3 UTECのバリューアップ

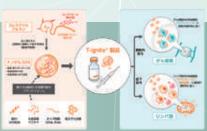
(貢献)

ユナイテッド・イミュニティ株式会社

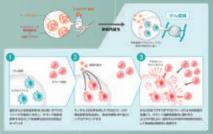
ナノテクノロジーと免疫療法の融合技術で、 難治性がんの克服に挑む



- **Q1** 京都大学秋吉一成教授のナノゲル工学研究成果を活用すべく創業科学者で発明者の原田 直純氏が2017年11月に起業
- Q2 腫瘍局在のマクロファージ(Tumor Associated Macrophage: TAM)選択的な薬剤のデリバリーと、搭載する薬剤の拡張性
- **Q3** 研究開発計画への助言、コーポレートガバナンスの整備、経営人材の採用といったハンズ オン支援



T-ignite®技術の概要



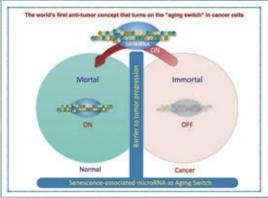
静脈注射によるマクロファージターゲティング

株式会社 PURMX Therapeutics

PURMX THERAPEUTICS

天然型マイクロ RNA 医薬品の開発により難治性疾患患者を救う

- Q1 広島大学田原栄俊教授が、老化に関わるマイクロRNAの抗腫瘍効果を発見し、RNAの機能性スクリーニング系を独自に開発。効能の高いマイクロRNAを本格的に臨床開発する段階へと至ったため起業
- Q2 マイクロRNAは多数の遺伝子を標的とした薬効を発揮するため、単一遺伝子を標的とする既存の抗腫瘍薬で課題の薬剤耐性を克服しうる可能性を有する
- Q3 広島大学における基礎研究の早期段階からのハンズオンでの事業化支援、特に 医薬品開発のための知財化や経営人材の採用において貢献



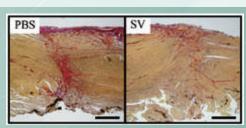
細胞老化マイクロ RNA による抗がん治療

株式会社 Elixir Pharma

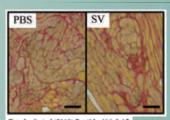
老化による歩行機能低下を解決する医薬品創出による 「活動的な健康長寿社会」の実現



- Q1 生体内の骨基質蛋白質として知られるオステオポンチンの一部分が筋肉再生機能を持つことが大阪大で発見され、筋肉の萎縮や断裂に対する治療剤として開発に取組むに至り、2020年8月に創業
- Q2 骨格筋衛生細胞を活性化させる機能性ペプチド技術、及びその応用力。筋肉の減少や損傷、線維化などを伴う様々な疾患への適応の可能性
- Q3 GLP毒性試験の具体化及び組織体制の強化に繋がるファイナンス支援、事業 展開の加速につながる幹部人材採用などの支援



SVペプチドは瘢痕形成を抑制する



Tanaka S et al (2019) Peptides116,8-15 SV ペプチドは筋繊維を太くする

株式会社セルージョン

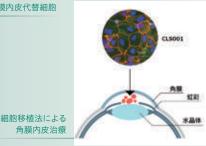


角膜移植の限界を超える技術で世界の視界を良好に

- Q1 角膜移植医として臨床現場の課題を熟知した羽藤晋氏が、慶應義塾大学の博士 課程で取り組んだ角膜再生医療に関する研究成果を事業化の為、同大学教授の 坪田一男氏、准教授の榛村重人氏と2015年1月に共同創業
- Q2 iPS 細胞から角膜内皮代替細胞へ直接的に分化誘導させる簡便かつ効率的な独自製法を確立。他家iPS 細胞ストックを原料に用いることで堅牢製法、安定品質、実用的な製造原価を実現。凍結保存法の確立により細胞製品における off-the-shelf 化製剤を実現
- Q3 IPO含めたファイナンス戦略、人材採用支援等



iPS 細胞由来 角膜内皮代替細胞

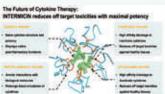


Red Arrow Therapeutics Inc.

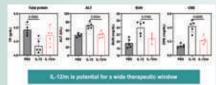
ナノメディシンの可能性を最大限に引き出し、「治らない治療」の実現を目指す



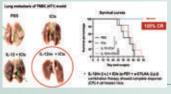
- 東京大学大学院工学系研究科博士で高分子医薬品デリバリーシステム専門家のCEO 宮崎拓也氏と同研究科准教授のHoracio Cabral 氏が2021年 8月に共同創業
- Q2 同社が開発したINTERMICINは、IL-12を封入したpH感受性のある高分子ミセルで腫瘍内のpHを感知してIL-12を放出し、腫瘍微小環境におけるエフェクター免疫細胞の浸潤と活性を増加させるものであり、IL-12の全身毒性も克服。現在の前臨床データでは、INTERMICINは単剤及び免疫チェックポイント阻害剤との併用で、様々な腫瘍モデルにおいて強い抗腫瘍効果を示している
- Q3 創業前からの継続的なチーム組成、事業計画、ファイナンス面での支援



INTERMICINは標的外毒 性を軽減



INTERMICIN (IL-12/m) はネイティブの IL-12 と比較して



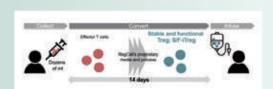
INTERMICIN (IL-12/m)は 免疫チェックポイント阻 害剤との併用で、強い抗 腫瘍効果を発揮

レグセル株式会社

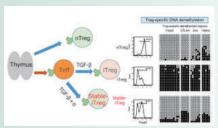
制御性T細胞を用いた革新的な免疫療法で、 アンメットニーズの克服に挑む



- Q1 大阪大学、京都大学教授で、制御性T細胞(Treg)の発見者である坂口志文先生の研究成果で社会に貢献すべく起業
- **Q2** 安定性、機能性、安全性、抗原特異性において他社のTreg 関連技術に対して優位性のあるiTreg (S/F-iTreg)の作成技術を有する。S/F-iTreg は、高レベルのTreg 機能誘導分子の発現及びTreg 特異的な DNA 低メチル化を達成し、機能的安定性を実現
- Q3 事業の方向性の策定や、その実行リソース整備へのハンズオン支援



炎症性 T 細胞を Treg に変換する細胞治療のコンセプト



S/F-iTregのTreg 特異的なDNA低メチル化



WASSHA 株式会社



Power to the People: 途上国に「電気のある暮らし」を届ける

- Q1 CEO秋田智司氏が、電化市場のポテンシャル、社会的意義及び規制の観点から、 東アフリカで事業開始。CEO秋田と阿部力也東京大学特任教授(当時)の2名に より2013年11月に共同創業
- アフリカの地方部に点在するキオスク(小規模店舗)と連携し、5,000か所程度に Q2 自社の太陽光パネルとランタンを配置。タンザニア・ウガンダ、モザンビーク等、現 地メンバーと密接に連携したオペレーション、日本を中心とした大企業との連携、 事業の実行力が強み
- 創業期からのリードインベスターとして、ファイナンス、事業計画、経営幹部採 Q3 用、組織構築、リーガルリスク対応、IPO準備など様々な支援を行ってきている



未電化地域に電気と 明かりを届けます

連携する小売店 (キオスク)の様子



株式会社お金のデザイン

テクノロジーの力で金融サービスを民主化し、 人とお金の新しい関係を創る



- 円安・インフレ・超低金利などの市場環境の変化によって、円で資産を持っておくことが必ず しも最適な資産保全方法とは言えない時代に日本が突入しているなか、京都大学加藤康之教 授と共同開発した投資運用エンジンを活用して適切なアルゴリズムを提供することで、一般個 人に対し、プロのアセットマネージャーが富裕層向けに提供しているものと同等の高度なアル ゴリズムによるグローバル分散投資を行うことを可能にしたいと考え、2013年8月に創業
- Q2 アカデミアと投資運用実務の双方に根差した運用チーム、金融規制業種における経験を 有する金融チーム、良質な顧客体験を追求するインターネット業界出身者の組み合わせ
- 投資運用の信用面の補完、ガバナンス整備やIPOに向けた助言 Q3

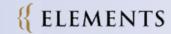


THEOサービストップ画面

一人ひとりにあった 資産運用プランを提案 その数は231通り



株式会社 ELEMENTS

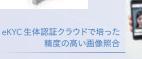


コンピュータビジョンxloTセンサーで得られる情報と分析により、 日常生活をより快適にするための研究、製品・サービスの開発

- 慶應義塾大学法学部を卒業し統計数理を専門とする久田康弘氏が、法医学の 統計学による鑑定技術とコンピュータービジョニングにより技術開発に着手、 2013年12月に創業
- 生体情報のインデックス化、深層学習による生体情報の高速検索、及び独自開 発の認証システムをコア技術として保有。IoP (Internet of Person)
- Q3 リクルーティングのサポート、事業計画の立案サポートに加えて、セールスサ ポート、ファイナンス面のリード、政府機関への提言。フィンテック分野、リテー ル分野、不動産分野の各事業の大手企業への紹介



SYMBOL 3Dスキャニング サービスと人体の体形(型) データに特化したAIエンジン を提供





MYCITY画像認識などのセンシン グ技術を活用し、都市と個人をつ なぐプラットフォームを構築



01

起業の発端

02 何が強みか (競争優位性) 03 UTECのバリューアップ

(貢献)

シーオス株式会社



ロジスティクス領域で、人間とAI/ロボットが協働する社会を実現

- Q1 創業者の松島聡氏が、外資系コンサルティング時代にロジスティクスの グローバル・タスクフォースでのプロジェクトを経験してロジスティクス の分析・設計への見識を深め、人間とAI/ロボットが協働する社会の実 現を目指して創業
- Q2 医療、小売、製造等、多業界の物流マネジメントを戦略レイヤーから現 場受託まで手がけてきたことから、物流IT化における課題解決のための 技術、その機能要件、市場の受容性を熟知していること
- Q3 資金調達、ガバナンス構築、資本業務提携面での支援



RaaS用自動運搬車

ウェアハウスマネジメントシステム





デリバリマネジメントシステム

株式会社レトリバ



最先端の自然言語処理技術で、 人の業務を支援するソフトウェアを作りたい

- AI技術の自然言語処理や機械学習、深層学習に大きな可能性を感じ、株式会社 Preferred Infrastructureから事業譲渡を受けて独立。同社で製造事業部長を務めた 河原一哉氏、同社出身で東京大学情報理工修士の西鳥羽二郎氏で2016年8月に創業
- 自然言語処理や機械学習、深層学習への深い知識やノウハウを活かし、顧客の課題を Q2 解決するために最適な手法をより使いやすく製品にしている点
- Q3 経営戦略策定、ガバナンス、リクルーティング、資金調達、顧客等の紹介及びパートナー 先の開拓等への支援



Answer Finder 精度評価画面



VoC Analyzer 分析画面

株式会社アイデミー

AIの内製化支援を行うリーディングカンパニーへ





- 東京大学工学部在籍時に機械学習の応用分野を研究した代表の石川聡彦氏が、AIプログラミングに 取組む敷居の高さを感じ、今日不足している人工知能エンジニア(人工知能を使えるデータサイエン ティスト等)を養成するため「Aidemy」のサービス開発を開始
- 法人及び個人向けにAIプログラミング特化型養成プラットフォーム「Aidemy」を、法人向けにAI組織内製化 Q2 やAIシステム運用のための支援事業を提供。AI研修サービスは累計18万人以上にユーザー数を伸ばし、 法人向け、Aidemy Business」は2022年10月現在までに400法人以上へ導入。環境構築不要ですぐに学習 を始められるUXと、組織設計から実運用まで一気通貫で顧客企業を支援してきたノウハウの蓄積が強み
- シード期からのファイナンス及び事業計画や経営戦略の策定、経営幹部チームビルディング、コーポ 03 レートガバナンスの構築、顧客企業紹介



オンラインコンテンツ 特有の学びやすさ



AIの実運用を簡潔化するプラットフォーム [Aidemy Technology]



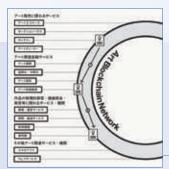
AI組織内製化や AIシステム運用の支援

スタートバーン株式会社

startbahn

アートが民主化され、文化のみならず財としても身近で重要な意味を持つ社会の実現

- Q1 現代美術家であり、東大大学院学際情報学府出身の代表施井泰平氏が、技術革 新や社会変化のダイナミズムに反しインフラ整備が遅れているアート業界の現 状を危惧し、テクノロジーとアートの架け橋となるべく2014年3月に起業
- 日米で取得した関連特許や、ターゲット層にアプローチしているプレイヤーが少ない Q2 こと及び業界事情を熟知し能動的な革新を提案できる立場にいること。Art Blockchain Networkやアート関連のNFTマーケットプレイスをはじめとした活動によ るアート×ブロックチェーンの日本における先導的企業としての認知度の高さ。長く自 社でブロックチェーンアプリケーション開発を行ってきたことによる設計・開発の知見
- シード期以来シリーズA以降も、リードインベスターとして資金調達、人材採用、 Q3 資本業務提携、ガバナンス整備等の助言を継続



開発を主導するブロック チェーンを活用したアート のインフラ "Art Blockchain Network (ABN)"



ABNを活用し、ブロックチェーン証明書と 共に日本の工芸作品を販売する、丹青社と の共同プロジェクト "B-OWND"







株式会社ティアフォー



完全自動運転のプラットフォーム及びサービス事業による高付加価値な移動時空間の創出

- 名古屋大学等で開発されたオープンソースの自動運転ソフトウエア Q1 「Autoware」を使った完全自動運転システム開発の為、加藤真平准教授 (当時名古屋大学、現東京大学情報理工学系研究科准教授)を中心に 2015年12月に創業
- Q2 「Autoware」を軸に、完全自動運転のプラットフォーム事業と、完全 自動運転によって解放される時間と空間を活用したサービス事業 を展開。2017年12月に日本で初めて一般公道におけるレベル4 (無 人運転)の自動運転に成功
- Q3 経営人材の紹介、資本業務提携の助言等





Logiee PV1



Minivan PV3

株式会社obniz



Make Everything Online

- 従来のマイコンボードを用いたIoTでは、開発環境の構築や特殊な開発言語、ソフト ウェア及びハードウェアの知識も必要となるなど様々なハードルが存在。誰もが自由 にIoT電子工作し得る世界を実現すべくobnizを開発、2014年11月に起業
- ファームウェアレス技術により開発と実装をクラウドに一元化したことで Q2 難易度が高いIoT開発の敷居を下げ、かつ開発工数を削減したことに加 え、メンテナンスや機能の拡張を遠隔から一元的に行えることが強み
- Q3 資金調達や販売営業戦略に関するアドバイス、人材採用支援、法人顧客 の紹介、法務面の支援等



複数のエッジデバイスとの連携も1コードで実現





Q 1

起業の発端

Q2 何が強みか (競争優位性) Q3 UTECのバリューアップ (貢献)

Tellus You Care, Inc.

中 tellus

最先端の技術でエルダー・ケア(高齢者介護)を革新的に変える

- Q1 介護の現場にNon-Invasiveなレーダー・センサーを導入することで実用的な健康情報とリアルタイムの通知を提供。ケアの質と業務効率の向上を目指し2017年6月に起業
- Q2 スタンフォード大学卒でGoogleやApple、米国航空宇宙局(NASA)などを経験した 米国の技術メンバーと、介護現場を熟知した日本メンバーが介護者・被介護者共に 価値を感じるソリューションを開発
- Q3 日本参入、チーム組成、事業開発での支援。日本は世界最大の高齢者介護市場の一つ









デバイス

ダッシュボード

SWAT Mobility Pte. Ltd.



大型自動車向けのオンデマンド・ダイナミック・ルーティング技術を活用し、 輸送システムにかけるリソースを最適化

- Q1 オンデマンドバスサービスを通じた交通渋滞の解消や通勤通学者向けのより便利な 交通手段の提供及び輸送システムにかけるリソースの最適化を実現し社会にインパクトを与えることをビジョンに掲げ、2015年11月にシンガポールにて創業
- Q2 リアルタイムに乗客のニーズに応え最適ルートを生成する高性能な機械学習技術。乗客はより目的地に近いところで乗降が可能となる。旅客輸送事業者に対しては、交通渋滞への対処や自動車台数の減少など、輸送効率化に貢献。Li & Lim's industry benchmarkのインテリジェント輸送部門においてランキングトップを獲得
- Q3 ファイナンス、日本マネージャーを含むリクルーティング、日本進出含むマーケティング等経営戦略全般への助言





株式会社estie

UPDATE REAL ESTATE



estie

- Q1 創業者の平井瑛氏が三菱地所にて海外不動産投資・オフィス賃貸営業を行うなかで、個別不動産のパフォーマンスに関する統計解析の手法を構想。プロでも十分なエビデンスに基づく客観的意思決定が行われず、テナントは不十分な情報の中で意思決定を行っている不動産業界の現実に課題意識を持ち、2018年12月に起業
- Q2 賃料をはじめとした不動産にかかる定量指標の推定アルゴリズムや物件のリコメンドアルゴリズムと それを支える不動産業界の知見。アルゴリズムは、データ収集、理解、補完、整形までの一連の過程 において事業用不動産事業の知見を活かし、独自に構築した市場最大級の統合データベースによる もので模倣が困難
- Q3 シード期からコミットしているリードインベスターとして、企業価値向上に向けた戦略・オペレーション・セールス&マーケティング、人材採用を支援



個別オフィスビル賃料を可視化する アルゴリズム



地図上に不動産統合データベースを構築

株式会社アダコテック



モノづくりの進化と革新を支える

- Q1 国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)の革新的な技術「高次局所自己 相関(HLAC)特徴抽出法を用いた適応学習型認識方式」を中核とした異常検知 AI の実用化を目指して2012年3月に設立
- 少量の教師データでも異常をほぼ100%検出できる異常検知AIが強み。汎用PC Q2 でもミリ秒単位で高速に結果を出すことができ、異常の原因もブラックボックス 化せず説明が可能である点も評価され、特にタクトタイムが厳しく説明責任が問 われる難易度が高い検査現場への適用が進んでいる
- Q3 リードインベスターとしてシリーズA資金調達を主導。事業戦略、経営人材採用、事 業開発等の経営支援



少量のデータでも異常をほぼ100%検出





自動車、電子部品、半導体業界を中心に生産ラインへの導入事例多数

株式会社ROMS



ROBOTICS OMNI SOLUTIONS

:ロボティクスソリューションをオムニチャネルやサプライチェーンの様々な領域に展開

- UTECを通じて知り合ったポーランド人2名と元三井物産の前野洋介氏が、小売や小 売のサプライチェーンの無人化・自動化のソリューション提供を通じた社会課題の解 決を志し、2019年6月に日本に本社を設ける形で共同創業
- 経営陣の小売りビジネス及び事業開発に関する知見と、エンジニアチームの自動化、 Q2 インテグレーション及びロボティクスの知見とを融合
- UTECは創業期より関与し、シリーズA以降のファイナンス、事業戦略の立案、ガバ 03 ナンス、経営幹部の採用などの支援を継続



ROMSが展開する、ロボット無人店舗・ダークストアソリューション





ROMSの無人店舗ソリューションを 利用して東京に展開した実証店舗

VividQ Limited



3Dホログラフィックディスプレイのマスへの普及を目指す

- 前身はデータ圧縮のスタートアップだったが、コアとなっていたホログラフィ技 術を転用し、ケンブリッジ大学Centre for Advanced PhotonicsのTim Wilkinson 教授の支援も得て、3Dホログラフィックディスプレイのコアソフトウェア開発事 業を軸に2017年にリスタート
- 画質・計算速度・スケーラビリティを全て備えたホログラム計算・光学的収差の 計算的補正技術及びその高速実装力と、ホログラフィックディスプレイの構成 に必要な各パーツのメジャーなサプライヤーとのパートナーシップ
- シード期来の共同リードインベスターとしての資金支援、APAC組織構築、日本 03 市場におけるビジネスディベロップメント、日本のアカデミアとの関係構築



「深さ」を表現可能



アプリケーションの1つである ARHUDは、実世界のオブジェクトに 合った形で情報を重畳





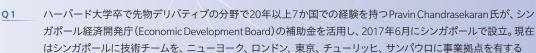
01

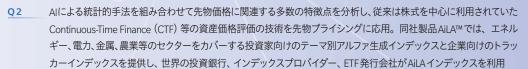
起業の発端

02 何が強みか (競争優位性) 03 UTECのバリューアップ (貢献)

OPALai Pte. Ltd.

コモディティ、ESG 銘柄、FX 市場の先物価格、ヘッジ、トレーディング戦略にフォーカスした AIドリブンのデジタルプラットフォーム



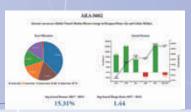


Q3 リード機関投資家として、事業計画策定、プロフェショナル人材の採用、日本における商社・ 金融機関・製造業等の顧客開拓のサポートや日本のアカデミアとの共同研究機会を提供

OPALai's Product Illustration purpose)



OPALai's Product Offerings for Pricing, Hedging and Trading



TXP Medical 株式会社

医療データで命を救う

- Q1 現役救急医である代表の園生智弘氏が救急医療の現場 で感じた課題を解決するためのソフトウェア開発を、当時 勤務していた日立総合病院において独自に進め、日本全 国の病院に展開すべく2017年8月に起業
- Q2 医療現場のニーズの深い理解とそれに基づく製品やアルゴ リズム開発、多数の大学病院を含む各地域の基幹病院との 強いネットワーク、ベンチャー企業でありながら国内外の学 会・論文に発信し続ける研究チームが競争優位性
- Q3 シリーズA以降のリードインベスターとして、企業価値向 上に向けた戦略、人材採用等で支援



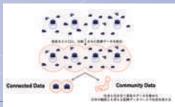


システムでの患者 情報の管理へ



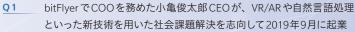
医療データを統合・整理

救命センタークラスの大病院 救急外来に特化したシステム [NEXT Stage ER]



株式会社 Capex

人間に寄り添うバーチャルヒューマン



Q2 アバターのUI/UXから、感情データを踏まえた独自アルゴリズムの対話 エンジンまで、トータルで人間への寄り添いを高めたインタラクション

Q3 シード期からのリード投資、経営戦略全般への助言、採用支援、プロダ クトフィードバック、B2B展開支援









iOS/Android向けにローンチした『PATONA』。 ここでのユーザーとの直接のインタラクションを起点として 対話体験をブラッシュアップし、バーチャルヒューマンへと展開

21

救急を入口に分断された

株式会社 HashPort



ブロックチェーンテクノロジーで日本を革新する

HashPor

- Q1 ボストンコンサルティンググループのデジタル事業開発部門である BCG Digital Ventures にて、東京オフィス最年少の Venture Architect (投資・事業開発担当者)として日本及び中国でのプロジェクトに従事した吉田世博氏が、ブロックチェーン技術の興隆に伴い 2018年7月に起業
- Q2 日本初のIEO (Initial Exchange Offering)を実現させた「トークン」分野における 高い専門性とノウハウ、新規暗号資産取扱申請支援で80%超のシェア、日本 初の本格 Play-to-earn (P2E)型ブロックチェーンゲームの開発をはじめとする Web3.0サービスの一気通貫での支援
- Q3 シリーズA以降のリードインベスターとしてのファイナンス及びチームビルディングの支援、暗号資産/Web3.0に関する政策提言、IPO支援







株式会社 DATAFLUCT



データハンドリングと自動機械学習をコアとした「データ利活用の民主化」

- Q1 13年以上にわたり日本経済新聞社やリクルート等の企業で30以上 の新規事業立ち上げに携わり続け、宇宙航空研究開発機構(JAXA) の招聘職員も務める久米村隼人CEOが、データサイエンスを用いた 新規事業に特化するために2019年1月に創業
- Q2 JAXAで培った地理情報と画像解析の連携、データサイエンティストの 属人性を排した最適モデルを探索する自動機械学習技術、高速に新 規アプリケーションを立ち上げることを可能にするクラウド開発基盤
- Q3 シリーズA以降のリードインベスターとしてのファイナンス支援、プロダクト化等経営戦略全般、アカデミア連携、人材紹介、IPO準備

都市の課題をデータで解決し、 サステナブルな都市を実現すること をテーマに開発を進める 『DATAFLUCT smartcity series』



ノーコードで機械学習モデルを構築 できるマルチクラウド環境の AutoML ツール『DATAFLUCT cloud terminal』

衛星データを活用し、大気中の二酸化炭素の 濃度と経済活動を可視化する環境モニタリン グサービス『DATAFLUCT co2-monitoring』



100

株式会社クウゼン

kuzen

対話の自動化で世界を変える

- Q1 東京大学アントレプレナー道場、投資ファンド、ITコンサルティングでの経験から、IT分野でグローバルに活躍するスタートアップを日本から生み出すという決意のもと、チャットという通信手段の変化のタイミングを捉えて、東大大学院出身の太田匠吾氏と白倉弘太氏で2015年2月に共同創業
- Q2 200社超の大企業への導入実績を持つこと、エンタープライズ顧客が必要とする多種多様な機能をノーコードで提供する唯一のチャットボットツールや特許取得済みの独自のシナリオ作成アルゴリズムを有すること、顧客の用途に合わせて様々な対話インターフェースを構築可能であること、外部システムと柔軟に連携できることなどが強み
- Q3 ファイナンス戦略やIPO準備に関する助言、採用支援、組織構築



「kuzen」エディター画面 ノーコードでスピーディーに チャットボットが構築できる

kuzen

0





エンドユーザーの チャットボット 利用イメージ

Q 1

起業の発端

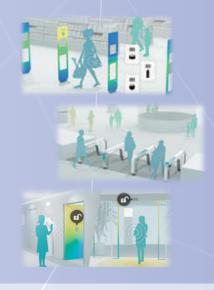
Q2 何が強みか (競争優位性) Q3 UTECのバリューアップ (貢献)

PaylessGate 株式会社

Payless Gate Create next generation

リアルの世界に究極の個人認証を提供し、シームレスな体験で世界を幸せに

- Q1 人の生きる意味は「次世代を創る」ことであり、特に次世代に残すべきものの1つが「シームレスな社会」だと考えた創業者の足立安比古氏が、個人認証の精度を非常に高めることによりリアル世界における個人認証の課題を解決することでシームレスな社会を創るべく、起業
- **Q2** 同社の有する「高速高精度な位置測定」と「決済レベルの認証」の特許技術の応用により、スマートフォンをポケットやバッグに入れるのみであらゆる認証や決済がハンズフリーで可能となる。先ずは展示会ソリューションをアプリケーションとして事業を展開
- Q3ファイナンス、経営幹部の採用、開発・営業人材の採用、経営管理体制構築、UTEC Venture Partnerの派遣などの支援



Obviously Al, Inc. obvieusly.ai



Obviously AIの共同設立者である Nirman と Tapojit は、インドとバングラデシュから米国に移住

非エンジニア人材であるビジネスマンが、ノーコードプラットフォーム を使って包括的な機械学習を行えるようにする

- Q1 共同設立者のNirman Dave 氏とTapojit Debnath 氏は、ボストンのHampshire College にて同級生として共にコンピュータサイエンスを専攻。CEOのNirman は、前職のスタートアップをインテルに売却するなど起業家経験を有し、CTOのTapojit は、MITでAl/MLの研究に従事。サンフランシスコのベイエリアに10人のチームを擁する
- Q2 優れた性能を持つMLモデルの構築とトレーニングを1分以内に可能にする独自技術「Edge-sharp AutoML」を 構築。クラウドサービスやデータベースとのシームレスなワークフローの統合に加え、エンド・ツー・エンドで コードレスなユーザー体験を提供することで、アナリストやBI専門家のニーズに応えている
- Q3 クライアントとGo-to-marketのパートナーシップを促進することで、Obviously AIの日本/APACへの進出をサポート。採用、製品戦略、成長戦略のためのハンズオンサポートも実施



アップロードされたデータから AutoML技術を用いて作成された予測レポート



説明可能なAIによるモデル性能の可視化

スタジオアンビルト株式会社

STUDIO UNBUILT

デザインを基軸にした建築設計 DX

- Q1 名古屋工業大学で建築を学んだのちIT業界で経験を積んだ森下敬司氏と山川紋氏の創業者2人が、ITを使って建築設計の業界を革新することを目指し2017年6月に創業。祖業の建築専門クラウドソーシング「Studio Unbuilt」を運営する中で見出した、注文住宅領域でのペインを解決するため、スマホで間取りの設計を依頼できる「madree」を立ち上げ
- Q2 創業チームの建築設計業界へのパッションと経験、国内最大級の建築特化型クラウドソーシン グ運営による建築専門家へのアクセス、「madree」の新しい事業モデルにより継続的に蓄積され る設計データ
- Q3 採用支援、ファイナンス戦略、事業開発

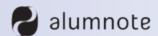
建築専門クラウドソーシング 「STUDIO UNBUILT I



スマホで間取りを依頼できる「madree」



株式会社 Alumnote



大学・企業向け卒業生ネットワークの構築支援

- 東京大学法学部在学中の2021年に起業家甲子園にて総務大臣賞を受賞した中沢冬芽 氏が、日本の大学の国際競争力の低下という社会的課題を克服するために大学へ資金 が還流する仕組みをつくるべく起業
- Q2 従来のSNSでは困難だった、大学が管理することが容易な卒業生のデータプラットフォームの構築を可能とする「Alumnote Community」を開発。コミュニティ運営の効率化ツール、卒業生の行動トラッキングと可視化を可能にする機能により、アルムナイコミュニティの活性化を目指す。イベントに加え、寄付やクラウドファンディング、ジョブボードの掲載も可能で、日本のドネーションマーケティングの高度化を目指す
- Q3 資金調達やチーム組成などシード期企業における経営全般の助言、UTECによる東京大学コミュニティへの寄附プロジェクトの業務委託



リリースされた Alumnote Community

UPDATE
THE SOCIAL
SYSTEM.



株式会社ALGOARTIS



電力や物流会社に向けたインフラ向けAIサービス事業

- **Q1** DeNA内における新規事業として2017年から事業化の検討を開始。2021年7月に本事業をスピンアウトする形で創業
- Q3 リードインベスターとしてシリーズA資金調達を主導。戦略立案支援、人材採用、 組織戦略、事業開発、ファイナンスサポート等



石炭火力発電所(資料提供:関西電力株式会社)

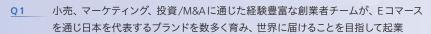


AIによるサプライチェーンの最適化

forest 株式会社

モノづくりブランドのM&Aと成長支援により 日本発の世界ブランドを多く輩出する





- Q2 ECブランド買収・バリューアップに関する知見と実績を有する強力な創業者チーム。 EC売上データの収集及びスクレイピングなど独自技術による買収先候補の選定と、 デジタルマーケティング強化、越境ECに関するノウハウ、データサイエンスを駆使し た販売/市場データの分析・活用等によるECブランドの売上成長支援
- Q3 シード期からの伴走、戦略立案支援、人材採用、組織戦略、事業開発、ファイナンス サポート等









日本のモノづくり ブランドの成長支援



PHINE.E



24 | UTEC

Q1

起業の発端

Q2 何が強みか (競争優位性) Q3 UTECのバリューアップ

(貢献)

株式会社フロンティア・フィールド

Frontier Field. Inc.

医療のICTプラットフォーム化により、医療機関のDXや働き方改革を推進

- Q1 創業者がNTTドコモ在職中に医療業界におけるDX化の遅れに課題を感じ、2016年7月に創業。 セキュアな環境下で医療機関のDXを実現するスマートフォンサービス「日病モバイル」を提供、 医療現場の働き方改革を推進するアプリケーションを開発
- Q2 NTTドコモをはじめとする病院内通信のベンダーや日本病院会など、医療・通信分野の有力企業・団体との強い連携、スマートフォン端末を独自のログイン機能で共有する特許
- Q3 事業・ファイナンス戦略、チーム組成等の継続的な支援



booost technologies 株式会社

エンタープライズ向け脱炭素 ERPシステム



- Q1 船井総研にてスマートエネルギービジネスチームのリーダーを務めた青井宏憲氏が、電力自由 化に伴い参入した新電力業者を支援するために設立。新電力向けのエネルギーマネジメントシ ステムとBPOを祖業とし、炭素会計分野に2021年より進出
- Q2 10年以上・70社以上の電力業者と付き合ってきた業界経験、一貫してエネルギー領域向けに FRPを開発してきた技術力
- Q3 ファイナンス支援、人材の紹介や採用支援、アカデミアやガバメントとの連携支援



ENERGY X GREEN.

炭素会計プラットフォーム『ENERGY X GREEN』



AEON Green System boost

エンタープライズとシステムの共同開発も

fermata 株式会社

アジア・日本のフェムテック市場を創出し、 女性だけでなく誰もが生きやすい社会を実現

- Q1 2019年9月、世界各国からフェムテックプロダクトを集めたイベント「Femtech Fes!」を東京で開催。会場の熱狂を目の当たりにし、アジア・日本市場の潜在的な需要と熱量を感じたため、本格的に事業ル
- **Q2** アジア随一のグローバルネットワークとユーザーコミュニティ、医薬部外品等の製造販売業許可を活用し、潜在需要の洗い出しからマーケットエントリまで一気通貫でのサービス提供が可能である点
- Q3 アーリーステージにおける資金調達。事業戦略や人材採用など、企業価値向上へ向けた包括的な経営支援を期待



Femtech Fes! 2022の様子



百貨店でのフェムテック商品販売

OniGO株式会社

最短10分で商品が届く、宅配ネットスーパー(Q-commerce)



ARCH

- ②1 三井住友銀行でロシア支店立ち上げなどを経て、CarPrice Japanを起業、楽天に売却 (現: 楽天カー) した梅下直也 CEOが、起業家の戦略・資本政策支援をする中、世界中で同時多 発的に立ち上がった Q-commerce 分野に着目し 2021年6月に創業
- **Q2** 創業から2ヶ月で店舗開設に至ったエグゼキューション速度、初期から海外投資家を巻き 込んだファイナンス、サプライチェーンの構築、B2Bパートナーシップ
- Q3 ファイナンス戦略の立案、人材の紹介や採用支援



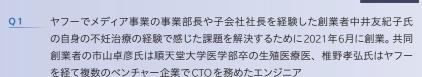
ダークストア内でピッカーが商品をピック

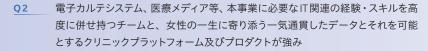


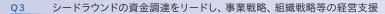
OniGO専属のライダーがお客様にお届け

株式会社ARCH

「人生の選択肢を増やす」をミッションに、生殖医療の課題を解決する









シームレスな診療体験の提供

Eureka Robotics Pte. Ltd.



人手不足の解消と飛躍的な生産性向上を実現する精密製造業向け HA-HA (High Accuracy-High Agility) タスク用ロボットコントローラの開発

- Q1 同社ロボットコントローラは南洋理工大学 (NTU) シンガポール校、東京大学、マサチューセッツエ科大学での10年にわたる研究成果を活用。CEOのDr. Pham Quang Cuong は、フランスのソルボンヌ大学で神経科学とロボット工学の博士号を取得し、日本学術振興会特別研究員として東京大学で博士研究員を経た後、NTU 准教授 (休職中)。CTOのDr. Hung Phan はNTU にてロボット工学の博士号を保有。シンガポール、ベトナム、フランスに拠点を有する
- **Q2** 独自のコントローラキャリブレーション技術、フォースコントロール、コンピュータビジョン、及びリアルタイムモーションプランニングによる独自のアルゴリズム
- Q3 リードインベスターとしての、製品、事業開発、流通、資金調達に関する戦略的支援。チームビルディング、顧客との関係構築、Go-to-Marketパートナーシップの促進を通じた日本への進出支援



共同創業者の Dr. Cuong と Dr. Hung (NTUのラボにて)



HA-HAタスクに対応した Eureka Controller

01

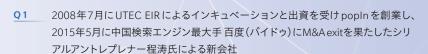
起業の発端

02 何が強みか (競争優位性) Q3 UTECのバリューアップ

(貢献)

issinホールディングス株式会社

日常生活に溶け込んだヘルスケア機器・サービスの開発・ 提供を通じて生命力が溢れる世界を実現する



popIn 時代に開発したヒット商品「popIn Aladdin」が販売実績累計20万台を突破 し国内ホームプロジェクターシェアNo.1を獲得した実績、消費者・顧客ユーザー のペインへの理解に基づく明確なビジョンとプロダクト構想力、海外ネットワーク を活用した量産体制と実績豊富なメンバーによる海外展開力

リードインベスターとしてシリーズA資金調達を主導。事業戦略、経営人材採用、 事業開発等の経営支援



アプリに毎日の体重を自動記録し 健康を簡単にモニタリンク



風呂上がりに体重を測定できる 「スマートバスマット」

popIn創業者であり、 シリアルアントレプレナーの程涛CEO





Cordia Directions 株式会社(Peach Cars) (peach

IoTと機械学習を活用し、サハラ以南のアフリカにおける中古車保有に革命を起こす

- グローバルに活躍してきたMcKinsey出身のCEO加賀野井薫がアフリカでの実務経験が豊 Q 1 富なCOO Zachary Petroniと前職 Safeboda で出会い、サハラ以南のアフリカにおける中古 車市場に着目し共同創業。現在はOLX、トヨタ、サファリコム、東京海上等で経験を積んだ 20人以上のチームをケニアと日本に擁する
- Q2 買い手と売り手をマッチングすることでマーケットプレイス3.0モデルを開拓し、ケニアでの 中古車所有に革命を起こす。同社の独自のスマートエンジンチェックIoTデバイス、応答性 の高いウェブ/モバイルアプリ、自動検査、データ分析からなる技術プラットフォームを活用 し、信頼性、透明性、顧客中心主義を実現
- Q3 主要投資家として、製品戦略、研究開発の強化、クロスボーダー展開、日本の自動車メー カーとの戦略的 Go-to-market パートナーシップにおいて Peach をサポート



チェック用IoT





UTEC Portfolio Companies

ベジタリア株式会社



最新の植物科学とテクノロジーを駆使し持続可能な環境と健康社会を実現する

- Q1 創業者の小池聡氏が、東京大学EMP (エグゼクティブマネジメントプログラム) 修了後に就農し、東大EMP関係者(講師陣、修了生)や各界有識者とともに食・ 農・健康・環境について議論を進め、それぞれの知見を結集する形で2010年 10月に起業
- 東京大学を中心とした各大学や政府系研究機関の研究成果を活かし、屋外計 Q2 測モニタリングシステム「フィールドサーバ」、水稲向け管理支援システム「パ ディウォッチ」、クラウド利用型農業支援システム「アグリノート」、植物病理関 連サービスを、グループで開発・提供。チームには、上場企業のCEO、CFO経 験者等を擁する
- 大学発のシーズの紹介、政府へのアクセス、資本業務提携の助言



自社農場で(小池社長)



水田センサ「Paddy Watch」

株式会社アルガルバイオ 🤼 algal bio



藻類が創る、新しい未来

- 東京大学河野重行名誉教授の20年以上の藻類バイオ研究の成果を基に、河野 研究室で博士号を取得した竹下毅博士が、同研究室の閉鎖に際し、機能性成分 を効率的に産生させながら微細藻類を大量培養する事業を興すために2018年3 月に創業
- Q2 藻類株の生成や藻類の培養・機能性成分の誘導における様々な知財を基に、世 界初の藻類バイオファンドリーを目指す
- 事業化までの研究室の存続のため大学への寄附を行うとともに、創業段階から Q3 のリードインベスターとしてシリーズA以降までのファイナンスを行い、事業戦略 の立案、経営幹部の採用、資金調達等における支援を行ってきた



様々な機能性成分が育成された「七色クロレラ」。 色はカロテノイド種や長鎖脂肪酸種に対応





通常の藻体(左)と超オイル藻体(右)

薄層光バイオリアクターでの大量培養

BionicM 株式会社



Powering Mobility for All.

- 自身も義足ユーザーである創業者の孫小軍氏が、ソニーでのエンジニア 経験と、ロボティクス研究で名高い東京大学大学院情報理工学研究 科稲葉雅幸研究室での博士研究を基に2018年12月に起業。起業前の3 年間、UTECと共に科学技術振興機構 (JST) のSTARTプログラムを活用し て研究開発を進めた
- 東京大学発ベンチャーとして、ロボティクス工学研究に基づく最先端テ Q2 クノロジーを活用し、従来の義足の問題を解決し、自然な動きを実現す る小型かつ軽量な高機能義足を生み出す
- Q3 シード期以来のリードインベスターとして、チーム組成、事業開発、資金





Q1

起業の発端

Q2 何が強みか (競争優位性) Q3 UTECのバリューアップ (貢献)

Nelumbo Inc.

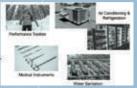
nelumbo

UCバークレー/シンガポール南洋技術大学(NTU)発の素材加工技術でマテリアル技術にイノベーションを起こす

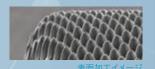
- Q1 国際的な大学間連携研究を基に、全く新しいマテリアル技術のプラットフォーム化を試みるため2016年5月に 起業。共同創業者でCEOのLiam Berryman氏はティールフェローで米国 Forbes 30 under 30選出。CTOのLance Brockwayは米国エネルギー省フェローでLawrence Berkeley National LabやNASA Jet Propulsion Labの研究者 を歴任。エンジニアリング担当のDavid Waltherは60以上の特許や論文をもち、米国エネルギー省フェロー
- Q2 ユニークでイノベーティブな基盤技術及びアプリケーション毎に顧客と共同開発を行い成果を共有するビジネスモデル、優秀なチーム
- **Q3** 橋頭堡市場であるHeating Ventilation Air Conditioning and Refrigeration (HVAC-R) 市場は、製造に関して世界トップOEM10社中4社が日本企業。また、ユーザー市場も世界2位(中国が1位)。特に日本での事業提携の構築やM&Aパートナーの開拓といった支援を行っている



共同創業者 David Walther、 Liam Berryman、Lance Brockway



アプリケーション分野



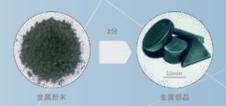
SUN METALON Inc.

SUN METALON

KEPLER

人々が思い描いたモノが、あらゆる場所でカタチになる世界へ

- 91 当時日本製鉄に在籍していた西岡和彦氏と景山宏治氏が、これまでになかった 電磁波を利用した製鉄方式による金属3Dプリンティング技術を独自に着想し、 2021年2月に起業。「金属部品を地産地消化し宇宙における人類の可能性を飛 躍的に拡張する」ことをビジョンとして掲げる
- 92 完全独自技術に基づく革新的な金属3Dプリンティング(超高能率・超安価・超大型)手法とその特許及び、産学での経験豊富なトップエンジニア集団(創業チーム)と、それを支える世界的な技術アドバイザー陣(MIT、Oxford、東京大学)
- Q3 ディープテック領域における豊富な実績と成功体験に基づく、的確な経営支援 (助言、サポート)や幹部人材の採用支援、様々な専門家人材の紹介(マーケティング、知財戦略等)



超安価・超高能率・超大型な金属3Dプリント技術 (安全独自)



金属原石の粉末

金属原石粉末から金属粉末をその場製造 (CO2フリー)

Kepler 株式会社

質感を表現するディスプレイ技術

- Q1 KDDI『LIGHT POOL』、魅族科技『Gravity』など、グローバルのヒット製品をデザインしたデザイナー・坪井浩尚が、Googleとのプロジェクトで発表した「紙のような電子カレンダー」を事業化すべく設立
- Q2 紙をはじめ、様々な素材の特性を模倣するディスプレイを実現する、ハードウェアとソフトウェアを一気通貫した技術
- Q3 ファイナンス支援、戦略支援、人材の紹介や採用支援、アカデミアとの連携支援







木のテクスチャを ディスプレイで模倣

株式会社 RICOS

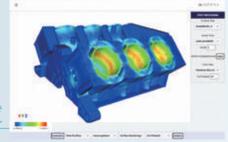


AIとシミュレーション技術で製品設計の課題を解決する

- Q1 代表の井原遊氏が東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程で 行った、物理試験を代替する3次元シミュレーション(CAE)に関する研究 成果を基に、情報処理振興機構(IPA)の未踏プロジェクトを経て起業
- デザイン・設計・シミュレーションなどで使われる既存製品を2桁オーダー Q2 高速化することで、ユーザーの「発見的シミュレーション活用」を可能とす る独自のIsoGCN技術
- Q3 リードインベスターとして、事業開発、経営チーム組成、ガバナンス面での 支援

有限新型解析 ISSIGCN CITS CEM? 予測結果

高精度かつ汎用性の高いアルゴリズム



ブラウザ上で シミュレーションを行うツール

Charco Neurotech, Ltd.

非侵襲的治療法でパーキンソン病患者のQoLを改善し、 日常に笑顔を取り戻す



- 数々の賞を受賞している起業家のLucy Jung 氏がImperial College 在学中にデザ インした刺激治療機器 "Arc Pen" がパーキンソン病の症状の一つである小字症 患者用のペンとして有効性を示した。局所振動刺激とキューイングの組み合わ せにパーキンソン病治療に向けた大きな可能性を感じたLucyが2019年6月に英 国・ケンブリッジで起業
- Q2 キューイングと局所振動刺激の機能を組み合わせた「CUE」により、前例のないパー キンソン病の非侵襲的治療を可能にすること
- Q3 少子高齢化が進みパーキンソン病患者が増加傾向にある日本市場進出のハンズ オン支援



パーキンソン病非侵襲的治療機器 "CUE"



CUEを受け取るパーキンソン病患者

EnteraSense Limited



ピル型非侵襲的診断医療機器「PillSense (ピルセンス)」による 上部消化管出血診断プロセスにおける課題解決

- ハーバードメディカルスクール消化器病学教授の Chris C Thompson 氏とシリア ル医療機器ベンチャー起業家の Donal Devery 氏が手を組み、上部消化管出血 診断過程の課題(内視鏡利用、診断時間長期化、医療費増加)に着目、非侵襲的 な診断機器の開発により課題を解決すべく、欧州の医療機器開発の中心地であ るアイルランド共和国ゴールウェー市で2015年5月に創業
- 診断結果を得るまでに平均27時間の待ち時間を要している従来の内視鏡検査 に対し、15分以内に上部消化管出血の有無を正確に診断することが可能な技術 力。医療機器の技術開発・商業展開において経験豊富な人材が揃ったチーム
- 日本を拠点とするグローバル光学機器、電子医療機器会社との共同開発





EnteraSenseのチーム

株式会社 Gaianixx

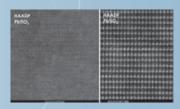
"多能性中間膜"で人類の為に最大たる貢献を果たす

Gaianixx

- Q1 Co-founderの木島健氏が東京大学田畑研究室にて「動的格子マッチング」のメカニズムを解明し、 多段層単結晶化に最適なM4技術 (Material, Method, Machine, Member) を構築。本技術の事業化 を通して半導体業界の革新と社会貢献を実現するためにUTECの支援のもと創業メンバーが集結 し、2021年10月にGaianixxを設立
- ・多能性中間膜™が実現する世界で唯一の多段層エピタキシャル単結晶膜
 - ・基板・結晶・機能膜材料を選ばず多種多様な産業へ展開可能なビジネスモデル
 - ・東京大学との継続した研究開発で次世代先進技術をリード
 - ・それぞれの分野に卓越したプロフェッショナルメンバーとチーム
- 起業前段階からチーム組成、製品開発戦略、事業開発、資金調達など多面的に支援 Q3

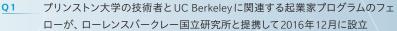


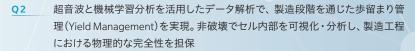
6inch/4inchの多段層単結晶膜を実現



Liminal Insights Inc.

データ分析でバッテリー製造を高度化し、脱炭素社会を実現





日本、また周辺アジア諸国は、世界的なリチウムイオン電池バリューチェーンに Q3 おいて極めて重要なポジションを占めている。UTECとしては、Liminalが日本な どアジア諸国における事業提携や事業開発を円滑に進めていくための支援を 行っていく



共同創業者 Shaurjo Biswas 博士(CTO)、 ew Hsieh 博士 (CEO)、Barry Van Tassell 博士



Ubifly Technologies Pvt. Ltd (ePlane)

貨物・旅客輸送用 eVTOL (電動垂直離着陸機)の 製造を通じて、アーバンエアモビリティ(UAM)に革命を



THE ePLANE

- IITマドラス校のスピンオフとして、2019年にインドのチェンナイで設立。共同創業者兼CTO の Dr. Satya Chakravarthy は IIT マドラス大学の航空宇宙工学の教授であり、ジョージア工科 大学で博士号を取得後、同校に研究開発センターを設立、インドの同分野の第一人者
- 翼とローターの相互作用により翼の周りを超循環させる「エアロダイナミック・シナジー」を世 界で初めて実現。10~100kmの飛行に適した「低速」で「コンパクトな翼」による高揚力を発生 させることが可能。複数の冗長性とフェイルセーフ機構により、eVTOLの安全性も向上
- Q3 製品戦略、製造のスケールアップ、事業開発、資金調達などにおけるグローバルな視点の提 供。日本の製造会社や電池メーカーとの協業支援



ePlane 「e200」モックアップ - 貨物・旅客輸送用200kg機



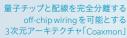
Oxford Quantum Circuits Limited

現代物理学のブレークスルーである量子計算技術を応用し、 あらゆる分野で革命を起こす





オックスフォード大学の Research Fellow であり、英国の超電導量子コンピュータ開発 を主導するPeter Leek博士が2017年に3次元アーキテクチャによるパッケージング技 術「Coaxmon (コアックスモン)」を発明し、特許を取得するとともに、英国オックス フォード大学からスピンアウトさせ、2017年6月に創業





量子チップと配線を完全分離するoff-chip wiringを可能とする3次元アーキテクチャに よる大規模集積化可能な特許技術「Coaxmon」を有する。2018年には英国で初めてと なる8量子ビットの超伝導量子コンピュータ[Lucv (ルーシー) | を商用化し、2022年2 月には世界で4番目にAmazon Web Service に採択された



OQCの創業者 Peter Leek 博士と CEO Ilana Wisby博士

東京大学を含むアカデミアとの連携、大手日本企業とのパートナシップの構築、日本/ APACへの進出サポート

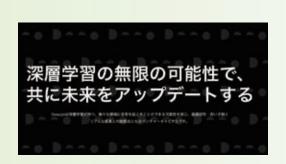
UTEC Portfolio Companies



Deep30投資事業有限責任組合

深層学習の無限の可能性で、共に未来をアップデートする

- Q1 深層学習などのAI技術はハードウェアとの連携が重要となってきていることから、 既存のインターネット事業よりリスクをとった初期投資が必要となる。そのため、深 層学習などのAI技術の実現可能性を見極められる投資主体の必要性を感じた
- 産学連携の橋渡しをしながら、社会実装のための技術的助言、バックオフィス支援 Q2 などを行い、AI分野の研究開発、エンジニア育成、バリューアップまでの一貫したサ ポート体制を構築
- VCファンド設立・運営に必要なビジネス・法務・財務等の各種知見の指導、投資先 Q3 への企業紹介やフォロー投資



BLUME VENTURES-FUND III Blume Ventures GIFT TRUST IV



インドにおいてTech/Earlyにフォーカスした最もアクティブかつ最大のファンド(AUM\$400Million超)

- Karthik ReddyとSanjay Nathによって2010年に設立。2011年に初めてのファンドとして\$22Million Q1 のFund Iを設立。その後2015年には\$60MillionのFund II及び\$41MillionのFund IIAを設立し、2018 年には\$102MillionのFund IIIを、2021年には\$200Million超のFund IVを設立
- Q2 Blume はインドにおいて Tech にフォーカスした VC のパイオニア。インドの Tech 分野のスタートアッ プであるGreyOrange、Tricog、Locus、Carbon Clean Solutions等多数の投資実績があり、Taxiforsure (Olacabsが買収)、Zipdial (Twitterが買収)、Minjar (Nutanixが買収)等Exit実績も多数。 アドバイザリー、リクルーティング、クロスボーダー展開等のサービスを投資先へ提供、多方面から バリューアップする仕組みを有する
- UTECは日本からは最大のLPであり、BUDHA (Blume UTEC Deep-tech Accererator)イニシアチブを 共同で実施。BUDHAではDeep Science/Technologyを武器にグローバルマーケットに挑戦するイン ドのスタードアップを支援





Partnering with Exceptional Founders

UTEC Portfolio Companies

Q1

起業の発端

Q2 何が強みか (競争優位性) Q3

UTECのバリューアップ (貢献)

Amadeus V Technology Fund LP

英国・欧州を代表するディープテックベンチャーキャピタルファンド



- Q1 1997年に英国、欧州発のテックベンチャーを世界に進出させたいという思いから Hermann Hauser 氏と Anne Glover 氏が創業
- Q2 IT、ライフサイエンス、エンジニアリング分野で投資実績豊富なパートナー。また、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学を始めとするイギリス、欧州各地の名門大学や各業界を代表する企業、ベンチャーキャピタルと強いネットワークを持っている
- Q3 UTECとの共同プログラムとして、「AUGMENT- Amadeus UTEC Global Market Expansion of Novel Technologies partnership」を発表。共同投資やパリューアップ等を行っていくことを通じて、英国及び欧州における日本とシナジーがあるスタートアップのソーシングを確保するとともに、UTECの投資先スタートアップの支援を図る。UTECとしては、日英欧クロスボーダーでの、市場/アカデミア/企業間の進出・提携支援を行っていく



アラムナイ

国内外の第一線で活躍されるUTECアラムナイ(卒業生)の方々



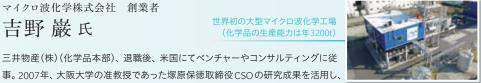


2022年6月 東証グロース市場にてIPO

マイクロ波化学株式会社 創業者

吉野巖氏

世界初の大型マイクロ波化学工場 (化学品の生産能力は年3200t)



「日本発の革新的技術を世界に広めたい」「新しいテクノロジーベンチャーを日本に起こしたい」「環境に貢献する事業 を始めたい」という想いを実現するため、塚原氏とマイクロ波化学株式会社を共同創業。マイクロ波プロセスを用いたモ ノづくりを可能とするプラットフォーム技術を提供するビジネスモデルを構築。2022年6月、東証グロース市場にてIPO。





2022年5月 Eurofins Scientific SE が M&A

Repertoire Genesis株式会社 創業者

鈴木隆二氏

レパトア解析を利用した 免疫細胞療法の開発



1986年に東北大学で医学博士を取得。1989年にテキサス大学MDアンダーソン癌研究 所へ留学。腫瘍免疫学の発展に、リンパ球の抗原特異性や免疫多様性の解析(レパトア 解析)が不可欠であることを確信。帰国後は製薬会社や国立研究機関に所属し、研究を

通じて各疾患領域の医師や専門家とネットワークを構築。2014年、「治らないをなくす」をミッションにRepertoire Genesis 株式会社を創業。未解決の医療ニーズに挑戦するため、基礎研究から免疫細胞療法の開発支援事業を展開。 2022年5月にEurofins Scientific SEによるM&Aが完了し、世界市場参入への足掛かりを得る。



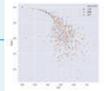


東証マザーズ市場にてIPO* 2021年12月

Institution for a Global Society株式会社 創業者

福原正大氏

気質・コンピテンシー AI 測定ツール「GROW360」



東京銀行(現:三菱UF|銀行)、バークレイズ・グローバル・インベスターズの日本法人取締 役等を経て、2010年に「人を幸せにする評価と教育で、幸せを作る人、をつくる。」をヴィ ジョンにIGSを設立。国際機関・政府・自治体・学校・大手企業などの幅広い顧客に、AIを

活用した評価ツール「GROW」や教育サービスを提供。子ども~社会人の多面的な能力の可視化・育成や、企業の組織 開発に貢献する。さらに、能力や学習履歴などのデータをキャリアに活かせる、ブロックチェーンを活用したプラット フォームも実証事業中。2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*





東証マザーズ市場にてIPO* 2021年12月

Green Earth Institute 株式会社 代表取締役 CEO

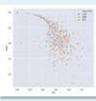
伊原智人氏

GEI化学品



通商産業省(現:経済産業省)にて資源エネルギー庁電力市場整備課で電力行政を 担当、株式会社リクルートで大学発技術の事業化支援を担当したのち、2013年に Green Earth Institute 株式会社に入社、同年10月に代表取締役社長就任。従来の発

酵プロセスは通常、食糧と競合するバイオマスを使ってきたのに対し、同社は茎や葉、木などの非可食バイオマスをも 原料としたバイオ燃料やグリーン化学品の生産を可能とする技術の研究開発を行っており、これらの技術サービスを提 供している。国内外の幅広いネットワークを活かし、バイオリファイナリー産業の新しいプラットフォーマーを目指す。 2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*

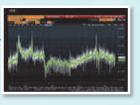


2021年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社 Finatext ホールディングス 創業者

林良太氏

日経CPINow



ドイツ銀行ロンドンのテクノロジー部門に新卒で入社後、グローバルマーケッツ部門に移りロンドン・欧州全域の機関投資家営業に従事。ヘッジファンド勤務を経て2013年12月に株式会社Finatext(現・株式会社Finatextホールディングス)を創業。金融に

関する豊富な知識・経験を基盤に、誰にでも分かりやすい UI/UX に落としこみ、非常に短い期間で開発を行う技術力、総務省や日銀出身者、我が国を代表する統計学・経済学の研究開発陣によるビッグデータを活用した経済統計開発技術が強み。2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*

FINATEXT

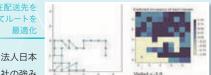


2021年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社JDSC 創業者

加藤エルテス聡志氏

宅配で不在配送先を 予測してルートを 最適化



P&G、マッキンゼー、米製薬メーカー等を経て、2014年に一般社団法人日本 データサイエンス研究所(現株式会社JDSC)を創設、代表に就任。同社の強み

は東京大学の越塚研究室(情報学環、IoT・データ活用)、田中研究室(システム創生、AI・ブロックチェーン)などのアカデミアと連携し、AI、データサイエンス、機械学習など多様な最新技術を活用し、産業全体の課題解決を行う点。2021年12月、東証マザーズ市場にてIPO。*





2020年12月 米国 Cox Automotive 社がバイアウト

Fyusion, Inc 創業者

Radu B. Rusu 氏

手ブレ補正されたスムーズな Fyuse 360°回転画像



ミュンヘン工科大学卒業。3D認識技術分野を世界的に牽引する第一人者。米国 Willow Garage 社を経て世界最大3D点群処理のオープン・ソース・プロジェクト

「Point Cloud Library (PCL)」を設立後、2013年にFyusion 社設立。ロボット研究からの高度な3D画像処理技術、センサー・フュージョン技術、人工知能技術を駆使した撮影技術により、圧倒的にスムーズな360°3D画像の描写を実現する。数多くの新技術の特許を取得し、2020年米国Cox Automotive 社によりバイアウト。Fyusion 社の360°3D 撮影技術は、Cox Automotive 社の様々な事業に貢献。

FYUSION



2020年12月 米国Nasdaq市場にてIPO

908 Devices Inc 創業者

Kevin J. Knopp 氏

M908: 世界初 小型携帯質量分析計



コロラド大学大学院卒業。2002年にAhura Scientific社を共同設立、2010年Ahura 社売 却までシニアバイスプレジデントを務め、売却後もポータブル光学分析部門のバイスプレジデント兼サイトリーダーを務める。化学分析の世界にイノベーションを起こすべく、

2012年に908 Devicesを設立。これまで中央研究所でしか利用できなかった質量分析法を現場で活用できる世界を目指し、独自開発した特許技術を活用して質量分析計の小型携帯化を実現。2020年12月米国 Nasdaq 市場にてIPO。

308 devices



アラムナイ

国内外の第一線で活躍されるUTECアラムナイ(卒業生)の方々



2019年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

AI inside 株式会社 創業者 渡久地択氏

DX Suite の利用画面





2004年より人工知能の研究開発をはじめて以来10年以上にわたって継続的な 人工知能の研究開発とビジネス化・資金力強化を行い、2015年にAlinside社を

創業。画像処理/DNNによるOCRエンジン用教師データを無限に生成できる独自の仕組みを開発、業界No.1の読み取 り精度を実現。レイアウト認識から自然言語処理まで全てをAIで行い、フリーフォーマットや乱筆文字、デザインフォン トに対しても高い精度で読み取ることを可能とした。2019年12月、創業5期目で東証マザーズ市場にてIPO。*



2019年2月 MBO

株式会社MUJIN 創業者

滝野一征氏



米国大学卒業後、ウォーレンバフェットの会社として有名な製造業イスカル社にて技術 営業として多くの賞を獲得。2011年に世界的ロボット工学の権威であるロセン博士と 株式会社MUJINを創業。世界一の産業向けモーションプランニング技術をもとに、知能

ロボットコントローラ「MUJINコントローラ」を中心とする知能ロボットソリューションを提供、物流、製造業界の現場で、 今まで自動化不可能だった分野をロボット化に成功し、生産性の大幅な向上を達成。2018年JD.com社でロボット20台 による世界初全自動倉庫を実現。2019年2月にMBO。



2018年12月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社ACSL 代表取締役(当時)

太田裕朗氏



京東社のロボットによる

世界初の全自動倉庫



京都大学大学院航空宇宙工学助教、カルフォルニア大学サンタバーバラ校中村修 二教授研究グループ研究員、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2016年に株

式会社ACSL COOに就任、2018年より現任。「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」を信念に、"自ら考えて飛ぶ" 制御をコア技術とする産業用ドローンを活用したインダストリアル向け無人化・IoT システム構築を展開。物流を初め、 トンネル・水道管や橋梁、船内の点検、内閣府の要請による被災現場での活用等、様々なプロジェクトを推進。2018年 12月に東証マザーズ市場にてIPO。*



香港上場 O Luxe Holdings と資本提携 2017年9月

GLM 株式会社 創業者

小間裕康氏

トミーカイラZZ



株式会社コマエンタープライズ設立、国内外の家電メーカーへのビジネスプロセス アウトソーシング事業を展開し、年商20億円に成長させる。2010年京都大学の『京 都電気自動車プロジェクト』を母体として現GLM株式会社設立。2014年ベンチャー

として初の量産EVスポーツカーの国内認証を取得、2015年「トミーカイラZZ」の量産を開始。2016年次世代車両「GLM G4]発表。2017年9月香港上場企業のOLuxe Holdingsと資本提携し、欧州・中東・中国へのグローバル展開を目指す。

*市場区分見直しに伴い、現在は東証グロース市場に上場 ** 市場区分見直しに伴い、現在は東証プライム市場に上場

2015年5月 バイドゥ株式会社が M&A

修士在学中にpopInを起業。新たな記事コンテンツの評価指標「READ」を2014年

popIn 株式会社 創業者

程涛氏

issin株式会社の 東京大学情報理工学研究科の修士課程での発明をビジネス化するため、2008年、



にリリース、レコメンドサービスと共に日本、韓国と台灣の500以上の大手メディアサイトに採用される。2015年5月中 国最大の検索エンジンを運営する百度(バイドゥ)と経営統合。現在は2社目となるissin株式会社を創業、再びUTECか ら投資を受ける。同社では、日常生活に溶け込んだヘルスケア商品とサービスを開発。2022年、風呂上がりに体重を測 定できる「スマートバスマット」の販売を開始。

xpopln

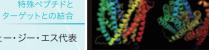


2013年6月 東証マザーズ市場にてIPO 2015年12月 東証一部に上場**

ペプチドリーム株式会社 創業者

窪田規一氏

特殊ペプチドと



日産自動車株式会社、現株式会社エスアールエル、株式会社ジェー・ジー・エス代表 取締役社長を経て、2006年、東京大学菅裕明教授のFlexizyme技術をコアとするペ

プチドリーム株式会社を設立、代表取締役社長を務めた。同社独自の創薬開発プラットフォームシステムにより、多様性 が極めて高い特殊環状ペプチドを多数合成し高速で評価することで、重要なヒット化合物の創製やリード化合物の選択 等を簡便に行うことができる。2013年東証マザーズ市場にてIPO、2015年東証一部に上場。** 第2回「日本ベンチャー大 賞」受賞。





2011年9月 株式会社ミクシィが M&A

ネイキッドテクノロジー株式会社 創業者

朝倉祐介氏



競馬騎手養成学校、競走馬の育成業務を経て東京大学法学部を卒業後、マッキン ゼー・アンド・カンパニーに入社。東京大学在学中に設立したネイキッドテクノロ

ジーに復帰、代表に就任。独自に開発した携帯電話向けアプリケーション開発プラットフォーム「Colors |を用いた複数 の通信キャリアの端末に対応するモバイル・アプリの開発で実績を積み、2011年9月、ミクシィ社へ売却。





2011年7月 東証マザーズ市場にてIPO*

株式会社モルフォ 創業者

平賀督基氏

手ブレ補正技術



東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻(博士課程)修了後、2004年、画 像処理技術の研究開発や製品開発を行う株式会社モルフォを設立、代表取締

役就任。コンピューターサイエンスは実学であるという信念に基づき、最先端の研究をただ理論で終わらせるのではな く、社会のニーズに適応させ活かすことを志向し創業。現在はグローバルスマートフォンメーカーに各種画像処理ソフ トを提供、車載や監視カメラ、ネットワークサービスへの展開を推進。2011年7月、東証マザーズ市場に上場。*





アラムナイ



2010年8月 ヤフー株式会社がM&A

株式会社シリウステクノロジーズ 創業者

宮澤弦氏

広告主が設定した エリアの近くにいる ユーザーに広告が

2004年、東京大学卒業直後に株式会社シリウステクノロジーズを創業、代表取締役 に就任。位置情報に応じてモバイルページ上に近店舗のテキスト広告を配信する

ローカル広告配信サーバーを開発し、ローカルリスティング広告サービス『アドローカル』を世界に先駆けて展開。2010 年8月、ヤフー株式会社がM&A。

UTEC Portfolio Companies



多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

Investment Professional



郷治 友孝

代表取締役社長CEOマネージングパートナー

ファンド運営及びベンチャー投資全般の統括

- 2004年4月株式会社東京大学エッジキャピタル共同創業以来、UTEC1号から5号までの投資事業有限責任組合(計約850億円)のベンチャーキャピタルファンドの設立・運営、UTECのチームビルディング、UTEC投資先の投資、育成及びエグジットの指導を担ってきた。これまでに20社がM&A等、20社が株式上場を果たす。
- 前職の通商産業省(現経済産業省)において、UTECのファンドを含む我が国ベンチャーキャピタルファンドの根拠法となった『投資事業有限責任組合法』(1998年制定)を起草し、文化庁、金融庁を経て、技術シードからのベンチャー投資に同法を実践するため退官。
- 2015年7月より日本ベンチャーキャピタル協会常務理事、2022年7月より副会長、2023年7月より会長。
- 東京大学大学院工学系研究科技術経営 戦略学専攻博士課程にて、科学技術に 立脚したスタートアップの成功要因を データサイエンスを用いてモデル化する 研究を行い、学術論文の重要性を実証。

1996年4月通商産業省(現経済産業省)入省、 2004年4月UTEC共同創業に当たり退官。東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、東京大学博士(工学)。日本ベンチャーキャピタル協会(JVCA)会長。



坂本 教晃

取締役 COO パートナー/マネージングディレクター

IT/AI, Life Science & Healthcare, Finance

- 経済産業省では、中小企業金融やリサイクル関連法案の作成業務や未踏ソフトウェアプロジェクトに従事。退官後、アパレル流通のファミリービジネスに参画し、新規事業立上げ及び事業整理を実施。
- McKinsey & Company では、日本・東南アジア・欧州を中心に製薬、医療機器、自動車、ハイテク、消費財、金融機関等の業界各社へのプロジェクトに従事。
- これまで㈱ACSL (2018年12月東証マザーズ上場*: 6232)や Repertoire Genesis ㈱(Eurofins Scientific SEによるM&A)等の社外監査役、ニューラルポケット㈱(2020年8月東証マザーズ上場*: 4056)、㈱JDSC (2021年12月東証マザーズ上場*: 4418)、㈱Finatextホールディングス(2021年12月東証マザーズ上場*: 4419)、Institution for a Global Society(㈱(2021年12月東証マザーズ上場*: 4265)、㈱ELEMENTS (2022年12月東証グロース上場: 5246)等の社外取締役を務めた。

東京大学経済学部卒業後、経済産業省入省。 2008年経済産業省退官、流通事業会社の副 社長を経て、コロンビア大学経営学修士 (MBA)。McKinsey & Company を経て、2014 年8月にUTEC参画。日本ベンチャーキャピタ ル協会(IVCA)企画部長。



宇佐美篤

取締役パートナー

Life Science & Healthcare

- ライフサイエンス分野を中心とする シード/アーリーステージ投資を担当。
- これまでに Repertoire Genesis(株)
 (Eurofins Scientific SEがM&A)、オリシロジェノミクス株) (Moderna, Inc. がM&A) の投資を手掛けた。
- 現在、投資先のエディットフォース㈱、 BUGWORKS RESERCH, INC.、 bitBiome(㈱)、セレイドセラピューティクス㈱、PURMX Therapeutics(㈱、ユナイテッド・イミュニティ(㈱、レグセル(㈱)の社外取締役等を兼任。
- (一社)ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-I)のサポーター等を行う。
- UTEC参画以前には、株式会社三菱総合研究所にて、ライフサイエンス及び他分野製造業メーカに対する新規事業戦略立案、経営計画策定支援等の業務に従事。

東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻にて、博士号取得、薬剤師。㈱三菱総合研究所にてコンサルティング業務に従事した後、2013年10月よりUTECに参画。

^{*}市場区分見直しに伴い、2022年12月現在は東証グロース市場に上場

^{**} 市場区分見直しに伴い、2022年12月現在は東証プライム市場に上場



井出 啓介

パートナー

IT, Physical Science & Engineering

- シリコンバレーでのエンジニアや経営 コンサルティング経験を含む15年間 の米国滞在後、東京のベンチャー企業 を経てベンチャーキャピタル業界に入 る。
- フィジカルサイエンス、IT分野の投資 に従事。
- 日・米投資先の社外取締役・監査役を 務める。Liminal Insights, RICOS, Tellus You Care, Inc. 、Nelumbo Inc.、 BionicM、Algalbio、他。
- これまでにGLM(株)(海外上場企業によるM&A)、Alinside(株)(東証IPO)、(株)IID(東証IPO)の社外取締役を歴任。また米国Google Inc.による(株)フィジオス買収ではディール開発から交渉まで実行した。Forbes Japan Midas List、日本ベンチャーアワードキャピタリスト賞受賞
- ●JVCAベンチャーキャピタリスト研修講師、文部科学省大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター等を務める。

半導体製造装置エンジニア(KLA)、経営コンサルティング(The McKenna Group)、ベンチャー企業 (IPFlex)等を経てGlobis Capital Partnersで8年間のコアテック投資を実施。DMP (TSE 3652)、Phyzios (MA by Google Inc.)やIID (TSE 6038)を担当した後、2015年UTEC参画。バージニア大学工学部BS (Tau Beta Pi)、スタンフォード大学工学部MS (Honors)

小林 宏彰

プリンシパル

Hiroaki

Healthcare, MedTech, IT, Life Science, etc.

- 2019年8月よりUTEC参画。ヘルスケア、 IT、ライフサイエンス等における投資を 担当。
- 現在、TXP Medical、メトセラ、Frontier Field、Red Arrow Therapeutis、 Enterasense等の社外取締役・監査役 を務める。
- 前職では、医療機器業界においてスタートアップ、大手メーカーにおいて、国内外での製造や販売等に関するアライアンス構築、アカデミアとの連携、KOLマネジメント、製品市場導入戦略など多様な業務を経験。
- それ以前は救急集中治療医として6年間東京大学附属病院及び関連病院で臨床・教育業務に従事。

東京大学医学部卒業後、同附属病院、日立製作所日立総合病院等で救急集中治療医として勤務。医療機器ベンチャーJOMDDを経て、フルブライト奨学生としてミシガン大学経営大学院(MBA)に留学。帰国後、大手医療機器メーカーでの事業開発本部を経て2019年8月にUTEC参画。

キランマイソール

プリンシパル

Al/IT, Healthcare, Physical Sciences

- AI研究者からベンチャーキャピタリストに転身し、2018年1月よりUTECに参画。IT分野、Healthcare、Physical SciencesにおけるAIの応用を含むAI分野のシード/アーリーステージ投資を担当。現在Eureka Robotics、Peach Cars、Tricog Health、Bugworks Research、OPALai、Obviously AI、SWAT Mobility、Liminal Insights、Blume Ventures等の取締役またはオブザーバーを務める。過去には2021年10月にCoinbaseにM&AされたAgara (PM Labs)の取締役を務めた。
- ●UTEC参画前は、デロイトトーマツベン チャーサポート(株)において、インド・東 南アジアオペレーションヘッド。 アジ ア全域において 50 社以上の Deep Tech スタートアップ企業に対し日本企 業とのコラボレーション等をサポート。 また経済産業省とも密接に連携しな がら、アジアのスタートアップ企業の ための CEATEC IoT Acceleration プロ ジェクトを主導。 自身で学生主導の ベンチャー企業 Kriyaを共同創業した 経験を有する。
- Stanford ASES (USA)、St. Gallen Symposium (Switzerland) および Yenching Academy (China)において Young Global Leaderに選出。2020年、 Finance & Venture Capital 部門にて FORBES Asia 30 Under 30 に選出。

DTVSにおいてインド・東南アジアオペレーションを主導し、ベンチャー企業 Kriya を共同創業。2013年、スタートアップで急成長中のオンライン旅行会社、Cleartrip India において企業分析を担当。2016年東京大学 TMIの修士を卒業。Deep Learning を専門とし2017年にPICMETにおいて論文がパブリッシュ。東京大学工学部 (SEUT) フルスカラシップ受賞。

Investment Professional



陳 嘉洋

プリンシパル

AI & IT, etc.

- 2021年7月よりUTEC参画。AI・量子 コンピュータを中心にIT分野における シード/アーリーステージ投資を担当。
- ●現在、投資先のOxford Quantum Circuits, RICOS, forest, PavlessGate, issin Holdingsの社外取締役・監査役 を務める。
- 前職のレノボ・ジャパンでは、営業戦 略部長としてNEC製品に関する大手 家電量販店向け営業戦略立案・実行、 オペレーション構築に従事。
- それ以前は、PwC事業再生部門にて窮 境企業のターンアラウンドに従事し、 主に大手グローバル企業の海外事業 再建支援を実施。

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 College of Creative Studies 数学科卒業。 PwCアドバイザリー合同会社の事業再生部 門、レノボ・ジャパン㈱を経て、カリフォルニ ア大学ロサンゼルス校経営学修士(MBA)。 同校卒業後、2021年7月にUTEC参画。

島田淳司

プリンシパル・弁理士

Life Science & Healthcare

- 2018年UTECに参画。主に、ライフサ イエンス分野の投資、投資先の経営支 援を行う。事業開発、経営戦略、知財 戦略を得意とする。
- 武田薬品工業(株)では、知的財産部にお いてAmgen Japan やNycomed などの M&A案件や多くの製品ライセンス案 件のデューデリジェンスを担当。米国 イリノイ州のTakeda Pharmaceuticals International O Global Licensing and Business Developmentでは、Director としてバイオベンチャーとのライセン ス案件に従事。
- バイエル薬品(株)経営企画本部におい ては新規医薬品のライセンスイン、 ノンコア製品のライセンスアウト、ライ センス対象の製品スクリーニング、 ディール締結後のアライアンスマネジ メントに従事。
- 国内大手特許法律事務所では、国内 外のバイオベンチャー、製薬会社の知 的財産業務に従事した。
- 特許庁 IPAS ビジネスメンター、その他、 セミナー講師多数。

2001年より国内大手特許法律事務所、2006 年より武田薬品工業(株)、2011-2014年 Takeda Pharmaceuticals international 出向、2014 年よりバイエル薬品(株)に勤務。2018年より UTECに ベンチャーパートナーとして参画。 大阪大学工学部卒業、IEビジネススクール 修了。弁理士。情報セキュリティアドミニスト



塩原 梓

プリンシパル

Life Science & Healthcare

- 2021年9月よりUTEC参画。
- バイオテク、ヘルスケア分野を中心に シード/アーリーステージの投資業務 を担当。
- UTEC参画以前には、アーサー・ディ・ リトルにて、ヘルスケアチームのマネ ジャー。製薬企業・医療機器企業を中 心に、新規事業戦略、R&D戦略など 様々なプロジェクトに従事。
- 東京大学薬学部卒、同大学院薬学系 研究科修了、ロンドン・ビジネス・ス クール経営学修了(MBA)。

東京大学薬学部卒、同大学院薬学系研究科 修了。神経領域の生化学研究に携わる。アー サー・ディ・リトルを経て、ロンドン・ビジネ ス・スクール経営学修士(MBA)。2021年9月 にUTEC参画。



申炯圭

アソシエイト

IT/AI, Life Science & Healthcare, Finance

- 2022年12月よりUTEC参画。
- ・UTEC参画以前は三菱UFJモルガン・スタンレー証券/モルガン・スタンレー (東京及び香港)のM&A及びTMTチームにて投資銀行業務に約6年間従事。 M&Aアドバイザリー、資金調達 (Equity、Debt)や企業価値向上に向けたディスカッションに至るまで幅広い範囲に渡って投資銀行業務全般を経験。
- 韓国にて高校卒業後、文部科学省 (MEXT)国費留学生として渡日。
- 東京大学経済学部卒



戸田広樹

アソシエイト

Physical Science & Engineering

- 2023年5月よりUTECに参画。主にフィジカルサイエンス領域の投資及びビジネスのサポートを担当。
- UTEC参画以前は、ベイン・アンド・カンパニーにて、PEファンド向けのDD、消費財企業のコストカット案件に従事。
- 東京大学工学部卒、同大学院工学系 研究科博士課程修了。研究テーマは アンモニアの酸化反応であり、Nature Chemistry誌に第一共著者として論文 を投稿。工学系研究科長賞(研究)を 受賞

東京大学経済学部卒

三菱UFJモルガン・スタンレー証券/モルガン・スタンレー(東京及び香港)の投資銀行部門を経て、2022年12月にUTEC参画。

東京大学工学部卒、同大学院工学系研究科博士課程修了。 工学系研究科長賞(研究) 日本学術振興会特別研究員(DC2) ベイン・アンド・カンパニーを経て、2023年 5月UTECに参画

Platform



Takashi Miyahara

宮原崇

プラットフォームディレクター/プリンシパル

Platform, Value-add

- ●2022年よりUTECに参画。プラット フォームディレクターとして、投資先 の Value Add を行うベンチャーパート ナーおよびHRチームを統括。投資先 のハンズオンをビジネス、ファイナン ス、HR、知財、オペレーション等の側 面から多面的に行う。
- ●UTEC参画以前は、マネーフォワードで B2B SaaS事業を統括しIPOに貢献し、 Facebook (現 Meta) や Amazon におい て事業責任者を歴任。

HR



飯沼舞子

HRマネージャー

Human Resources

- 2021年9月より、UTEC参画。IT分野を 中心に、投資先の組織開発、経営者候 補の採用を含む人事活動全般を支援。
- IBM にてシステムエンジニア及びソフ トウェアマーケティング職を経て、エ グゼクティブサーチファームに参画。 テクノロジー、コンシューマーグッズ 領域のアソシエイトとして、国内外の クライアントに対する経営人材の外部 招聘に従事。
- 前職では、データ活用のITスタート アップにてバックオフィスの初期メン バーとして参画。その後、人事採用担 当マネージャーを務める。

PR



野間円 プラットフォームアソシエイト

PR and Community

- 2021年よりインターンとしてUTECに 参画し、主にUTECのPRおよび投資先 支援を担当。2023年より現職。
- UTEC参画以前は、東京大学工学系研 究科にて、専門である化学工学の知見 を活かし、再生医療分野で大手化学系 メーカーと共同研究を行う。
- 東京大学工学部長賞(金賞)受賞。

伊藤忠商事にて営業、欧州駐在を経た後、 IBM ビジネスコンサルティングサービス(現 日本IBM)にて数社のPMIをリード。GREE にて新規事業開発室室長、マネーフォワー ドにてB2B SaaS事業を立ち上げ、執行役員 として同社のIPOに貢献。Facebook (現 Meta)にて新規事業の日本責任者、 Amazon では家電・オフィス用品の販売事 業者サービスの責任者に従事。

慶應義塾大学文学部卒業。IBMにてシステ ムエンジニア及びソフトウェアマーケティン グ職を経て、エグゼクティブサーチファーム に参画。アソシエイトとして、テクノロジー及 びコンシューマーグッズ領域を担当。前職で は、データ活用のスタートアップにてバック オフィスの初期メンバーとして参画。その後、 人事採用担当マネージャーを務める。2021 年9月より、UTECHRチームに参画。

東京大学工学部卒業・同大学院工学系研究 科修了。

専門である化学工学の知見を活かし、再生 医療分野で大手化学系メーカーと共同研究

東京大学工学部長賞(金賞)受賞。毒物劇物 取扱責任者。

HR



HR

Hirofumi Oki



Kiyomi Nakamura

中村 清美

HRアシスタント

Human Resources

- 2023年6月よりUTECに参画。投資先のHRサポートのアシスタントを担当。 移住先の群馬県よりリモートで業務にあたる。
- 前職のAIスタートアップでは人事総務 部で労務、外国籍社員の相談窓口を 担当。それ以前は日本語講師派遣会社 で講師兼人材コーディネータ、外資ア パレルで人事に従事。

沖 大典

HRシニアマネージャー

Human Resources, Executive Talent

- 2018年 UTEC 参画。シニアマネー ジャーとして、国内外の投資先の経営 チーム組成を行うHR Teamの立ち上 げ及び同チームのマネジメントを主導。 2023年よりベンチャーパートナーとし て、米国より投資先の支援及び海外経 営人材のソーシングに従事。5年間で CEO/共同創業者を含む150名以上の 経営人材を輩出し、海外を含めた複数 のIPO・M&Aに携わる。70社以上の投 資先に対し、組織戦略・リーダーシッ プ開発・経営人材のアセスメントなど 多岐にわたるサポートを提供。創業前 からのチームビルディング含めた共同 創業案件にも携わる。また、Life Science, Physical Science, IT領域のエ グゼクティブを集めたUTEC独自の経 営者タレントプール「UTEC Startup Opportunity Club」の設立も主導。
- 前職では、英系のエージェンシーでバイオベンチャーチームの立ち上げとそのリードを担当。ヘルスケア領域での経営人材の採用とキャリアコンサルティングに従事。

日本語講師派遣会社にて講師兼人材コーディネーターを8年間務めたのち、米系アパレル、AIスタートアップで人事総務職に従事。2022年にUTECと臨時業務を開始し、翌2023年6月参画。中国北京語言大学卒。

学生時代から、ベンチャーに特化した組織・人事コンサルティングのスタートアップに就業。Web/IT業界の経営人材のヘッドハンティング、ヘルスケアベンチャーへの採用コンサルティングを経て、2018年8月にUTECHRマネージャーとして参画、現在はUTECベンチャーパートナーとして関与。

Administration



崎田 博之

管理部長

Hiroyuki Sakita

Administration

- ・ファンド管理、投資家対応、会社の管 理業務全般を担当。
- 有限責任監査法人トーマツではマネ ジャーとして、上場会社・上場準備会 社の監査業務、上場準備やM&Aのた めの各種調査業務、業務プロセス構 築・事業計画策定等のアドバイザリー 業務に従事。
- スタートアップにてファイナンス、経 理・人事総務・法務等のコーポレート 業務全般に従事。

吉岡ふみ

マネージャー

Administration

- ・ファンド管理、投資家対応、PR等を担 当。
- 有限責任監査法人トーマツでは、投資 事業有限責任組合・上場会社・上場準 備会社の監査業務、上場準備のための 各種調査業務等に従事。
- 会計・税務のアウトソーシング&コン サルティング会社にて法人・組合等の 経理、税務業務に従事。

高森 清明

マネージャー

Administration

- 2021年11月よりUTEC参画。ファンド 管理業務を担当。
- UTEC 参画以前はファンド管理のサー ビスプロバイダーであるWM Fund Associates(株)にて、ファンドレイズや ファンド運営に関わる管理業務、シス テム開発を中心に従事。
- それ以前はベンチャー企業にて、経理 部長として経理・財務業務や組織再編 プロジェクトに従事。

2007年 監査法人トーマツ (現有限責任監査 法人トーマツ)入所。マネジャーとして監査 業務・アドバイザリー業務に従事。スタート アップでのファイナンス業務・コーポレート 部門立ち上げを経て、2018年1月よりUTEC に参画。公認会計士。

監査法人トーマツ(現有限責任監査法人 トーマツ)にて監査業務等に従事。会計・税 務事務所を経て、2014年よりUTECに参画。 京都大学経済学部卒業。公認会計士。

事業会社の経理財務業務に10年携わり、 2017年よりWM Fund Associates(株)にマネー ジャーとしてファンド管理業務に従事。 2021年11月よりUTEC参画。中央大学大学 院国際会計研究科修了。



Alumni Venture Partner



辻 秀樹

アラムナイベンチャーパートナー

●日本発の技術でグローバルにインパクトを与えるオープンイノベーション投資に注力。これまで、再生可能エネルギー導入拡大に資するMW級蓄電池システムを活用した分散電源サービスを行うエクセルギー・パワー・システムズ㈱の欧州展開、デジタル制御技術によるEモビリティ向け蓄電池の再利用を行うNExT-e Solutions(㈱のアジア・欧州展開、次世代型SOFC燃料電池を開発するFCO Power(㈱の日本・欧州展開等の次世代技術の事業化を支援。



山本哲也

アラムナイベンチャーパートナー

●UTECではIT分野を中心とするシード/アーリーステージ投資を担当する他、グローバル戦略にも注力、UTEC投資先の㈱ROMS、SWAT Mobility Pte.Ltd.、Locix Inc.、Fyusion,Inc.、㈱自律制御システム研究所(ACSL:2018年12月東証マザーズ上場*:6232)、㈱MUJIN(2019年2月MBO)、㈱フィジオス(2013年2月Googleにより買収)、㈱ネイキッドテクノロジー(2011年9月ミクシィにより買収)等の社外取締役を務めた。

東京大学法学部卒業後、通商産業省を経て、ヴィジョンアーツ株式会社にCOOとして参画。ペンシルベニア大学ロースクール修士課程・ロンドンビジネススクール修士課程修了後、2006年8月にUTEC参画。

1994年三井物産㈱入社、三井ベンチャーズにて日米でのIT 関連のベンチャーキャピタル投資事業に10年間従事後、依願退職。2008年7月よりUTECに参画。オックスフォード大学理学部物理科卒業(M.A.Oxon)。英国オックスフォード大学サイード経営大学院エクゼクティブMBA在学(オックスフォードアラムナイ奨学生)。2022年4月、早稲田大学ベンチャーズ株式会社設立、共同代表ジェネラル・パートナー就任。

^{*}市場区分見直しに伴い、2022年12月現在は東証グロース市場に上場

その他役員及びシニアアドバイザー

茂木敬司 Keiji Mogi

- 1964年上智大学外国語学部卒業、翌年 ルーバン・カトリック大学修士課程ベル ギー政府給費留学。
- 三井銀行(現三井住友銀行)にて、会長秘 書、ニューヨーク支店副支店長、ブラッセ ル支店長等を経て、さくら銀行(現三井住 友銀行)取締役、さくらカード(株)代表取締 役副社長、ソニー生命保険㈱執行役員専 務、英国 Bridgepoint Capital アドバイザー 等を歴任。2007~2012年、帝京大学経済 学部経済学科教授として教鞭を取る。
- 2006年より英国 VenCap Internationalアド バイザーを務める。2010年6月、当社取締 役(社外)に就任。

平野正雄 Masao Hirano

- 1980年東京大学大学院工学系研究科反 応化学科修士。スタンフォード大学大学院 工学系経済工学修士、東京大学大学院工 学博士。
- 1980年、日揮(株)入社。1987年マッキンゼー 入社、1993年マッキンゼー全社パートナー 就任、1998年全社ディレクター(シニア・ パートナー)、マッキンゼー日本支社長就 任。2007年、カーライル日本共同代表に就 任。
- ●2012年より早稲田大学商学学術院(ビジ ネススクール)教授として教鞭をとる。日本 ビジネスモデル学会会長。

Christina L. Ahmadjian

- 1981年ハーバード大学卒業後、1982年三 菱電機㈱入社。1987年スタンフォード大学 ビジネス・スクール経営学修士課程修了、 1995年カリフォルニア大学バークレー校 ハース・スクール・オブ・ビジネス博士課程 修了し、1995年コロンビア大学ビジネス・ スクール助教授、一橋大学大学院経営管 理研究科教授を経て、2022年一橋大学名 誉教授および立教大学経営学部国際経営 学科特任教授。
- 2009年より、エーザイ(株)、三菱重工業(株)、 ㈱日本取引所グループ、住友電気工業㈱、 アサヒグループホールディングス、日本電 気㈱、日本特殊陶業㈱の社外取締役に就 任。日本在住25年超。米国籍。

高橋浩之 Hiroyuki Takahash

監査役(社外)

• 1985年東京大学工学部原子力工学科卒、 1989年東京大学工学部原子力工学科助 手、国際交流室講師、東京大学人工物工学 研究センター助教授、高エネルギー加速器 研究機構物質構造科学研究所併任助教授 を経て、2005年より東京大学原子力国際 専攻教授、2014年より東京大学工学系研 究科長特別補佐、生産技術研究所研究担 当、2017年より東京大学工学系研究科社 会連携·産学協創推進室長、東京大学産学 協創推進本部副本部長を務める。2012年 より日本学術振興会産学協力研究委員会 第186委員会副委員長を務める。

中本和樹 Kazuki Nakamoto

監査役(社外)

- 1976年大阪大学理学部数学科卒業。
- •1976年、大同生命保険相互会社入社。 1998年同社取締役就任、2001年同社常務 取締役就任、同社取締役常務執行役員、取 締役専務執行役員就任を経て、2008年同 社代表取締役専務執行役員就任。2010年 同社常任監査役就任、2014年同社退任。
- 現在、学校法人近畿大学資産運用委員会 委員、(株)クロスポイント・アドバイザーズ顧 問。

冨山 和彦

シニアアドバイザー

- 1985年東京大学法学部卒業。スタンフォー ド大学経営学修士(MBA)及び公共政策課 程修了。
- 1985年、(株)ボストンコンサルティンググ ループ入社、2001年(株)コーポレートディレ クション代表取締役社長就任、2003年(株) 産業再生機構代表取締役専務、業務執行 最高責任者就任。2007年IGPI (㈱経営共創 基盤)設立、2009年「IAL再生タスクフォー ス」サブリーダーに就任。2020年IGPI(㈱経 営共同基盤)グループ会長就任
- 経済産業省IoT 推進ラボIoT支援委員会座 長。





株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

〒113-8485 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学南研究棟3F

Tel 03-5844-6671 Fax 03-5844-6672 Mail info@ut-ec.co.jp Web https://www.ut-ec.co.jp

The University of Tokyo Edge Capital Partners Co., Ltd.

7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8485, Japan

Tel +81-3-5844-6671 Fax +81-3-5844-6672 Mail info@ut-ec.co.jp Web https://www.ut-ec.co.jp